2023年度入試用

（2022 年）

BASIC

CONCEPT BOOK

桐 生 大 学 附 属 中 学 校

Contents

★ 基本ビジョン・教育システム概要・・・1～7

1． 基本ビジョン

2． 教育システム

○ 特別進学・進学スポーツ 2コース制について

○ 教育の柱

★ 授業の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・8～23

1． 学習システム・・・・・・・・・・・・・・・・・・8～9

○ シ ス テ ム 表

○ 校時表

2． 6カ年中高一貫カリキュラム・・・・・・・10～11

3． 教育課程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12～13

4． 各教科の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・14～23

○ 国語で輝く

○ 社会で輝く

○ 数学で輝く

○ 理科で輝く

○ 英語で輝く

○ 保健体育で輝く

○ 音楽で輝く

○ 技術家庭で輝く

○ 美術で輝く

○ 総合学習で輝く

★ こころの教育 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・24～26

1． エールシステム 『NOTICE』

○ 基本概念

○ システムの概要

2． MBO「C³（シー・キューブ）」

○ 基本概念

○ システムの概要

3． 道徳教育

★ 進路学習 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27～28

1．ドリカムプラン『K－JET』

○ 基本概念

○ 現在実施している課題解決型進路プログラム

★ 学校生活 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29～34

1． 学校行事

○ 主な学校行事

○ 学校行事の様子

○ 国際交流プログラム

2． クラブ活動

○ 特別進学コース

○ 進学スポーツコース

★ 教育成果目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・35

★ 入試関係 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36～49

1． 2023年度中学募集要項

★ 2022年度イベント ・・・・・・・・・・・50

★ 学納金＆諸経費 ・・・・・・・・・・・・・・・51

★ 高校とのつながり ・・・・・・・・・・・・・51

★ 桐生大学附属中学校 Q&A・・・・・・52～55

基本ビジョンと教育システム概要

1. 基本ビジョン

建学の精神　**「社会に出て役立つ人間の育成」**

教育理念　**「実学実践」**

『知（自ら知り）、考（自ら考え）、行（自ら行い）、確（自ら確かめる）』を行動指針とし、『こころの教育』をもとに、探究心、自立心、自主性、創造性の育成を目的とした教育理念。基礎基本を大切にした体験的、実学的、主体的学習を重視した実践的な教育を目指す。

基本方針　**『生徒一人ひとりが輝く学校』**

① 生徒と教職員間の『信頼』を最重視した教育
② 『基礎・基盤の確立』をテーマに人間力の醸成を第一義とした教育
③ 少人数教育をベースに従来以上に『個』を尊重
④ 総合学園としての力を結集
⑤ 将来の進路についても責任を持った指導とサポート
⑥ 全ての面で安心・安全な学校

『生徒が輝く』

A 楽しい
B 自律している
C 心身の健康がケアされる
D 豊かな感動体験
E 学び合う学級
F 地域の誇りとされる

「元気に登校し」「自ら学び」「笑顔で帰宅する」

教育目標

① 『生きる力』をはぐくみ、生命と自然を尊び、平和を愛し、心身ともに健康な人間性豊かな人材を育成する。
② 基礎基本を大切にし、探究心を養い、応用力のある幅広い知識と豊かな教養を身につけた人材を育成する。
③ 一人一人の個性を尊重してその能力を伸ばし、創造性、自主性、自律性を養うとともに、高い目標をもって、自らの道を自ら切り開いていける人材を育成する。
④ 使命感と責任感を培い、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、各分野の人々から信頼を得て、真に社会のリーダーとなり得る人材を育成する。
⑤ 日本の伝統・文化を大切にし、理数科学に関心をもち、優れた語学力を身につけ、真に国際社会で活躍できる人材を育成する。
⑥ きめ細かな質の高い少人数制教育を実施し、併設型学校の特色を生かして、生徒が希望する進路の実現を積極的に支援する。

目指す生徒像

A 常に実学実践の気概をもち、自らの能力と人生を自らの力で開拓していける生徒
B 国際社会に生きる日本人として、豊かな人間性と教養と語学力を身につけた生徒
C 理数分野をはじめとして、様々な社会・分野で活躍できるリーダーを目指す生徒

目標とする学校像

A 個を互いに尊重する学校
B 自律を支援し為すことにより学ぶ学校
C チャレンジ心（スピリッツ）を育む学校
D 人に尽くす心を育む学校
E 基礎学力を育む学校
F 学園と地域のネットワークで学習する学校
G 安心・安全な学校

2. 教育システム

桐生大学附属中学校　『こころの教育』　『きめ細かな質の高い少人数教育』

特別進学コース　「育てる3年間」

●幅広い知識と教養を身につけ、国公立大学・早慶などの難関私立大学合格を目指す。

進学スポーツコース　「繋ぐ・気づく・輝く3年間」

●運動部での活躍とともに、国公立大学・有名私立大学合格を目指す。

自立・自律を高める教育

●ドリカムプラン「K－JET」

「為すことによって学ぶ」体験型進路学習プログラム

中学３年間を人間形成の時期と考え、生徒の自立・自律を高めながら、さまざまな体験を通じて自分の未来（進路）につなげる。

A　安心できる仲間と一緒に様々な体験をする
B　様々な人の経験や考えに接する
C　自分たちで考えてやってみて、たくさんの失敗体験と成功体験を得る
D　体験を通じての学びと学校での学習につなげる
E　前向きに学校生活に臨むやる気と勇気を生む

探究心　自立心　自主性　創造性の育成　体験的　実学的　主体的学習

個を互いに尊重する教育

● エールシステム「NOTICE」

『生徒のプラス行動を伸ばす』システム

生徒のプラス面での変化に気づく
↓
先生全員で意識的に見ることで発見
↓
応援していることを本人にフィードバック

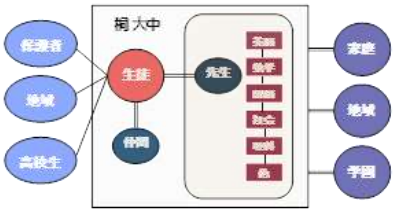
● MBO「C³（シー・キューブ）」

他者貢献の心と自律を育むプログラム

チームを作る → テーマを設定する → 目標を設定する → 行動プランを考える → 成果をまとめる → 評価する → チームを作る

ネットワークを生かした教育

A　総合学園としての教育資源を十分活用する
B　地域社会との共存に取り組む学校づくりを行う
C　地域で子どもの可能性を最も伸ばす教育を行う



基礎学力を育む教育

A　効率的な授業
B　授業を支える教師の授業研究
C　基礎学力の定着を図る通常授業
D　集中力を高める朝自習
E　講座制による放課後・土曜日学習
F　テスト・面談・添削指導の徹底
G　論理的思考力の養成

桐生第一高等学校　鍛える３年間　『生徒が希望する進路の実現』

特別進学コース

●国公立大学・早慶など難関私立大学合格を目指す

1. 英検準１級・TOEIC、数学オリンピックなど資格・各種コンクールに挑戦する。
2. 中学3年間で深く学習した利点を生かし、幅広い知識と教養を身につけ希望の進路実現を目指す。

進学スポーツコース

●運動部での活躍とともに、国公立大学・有名私大合格を目指す。

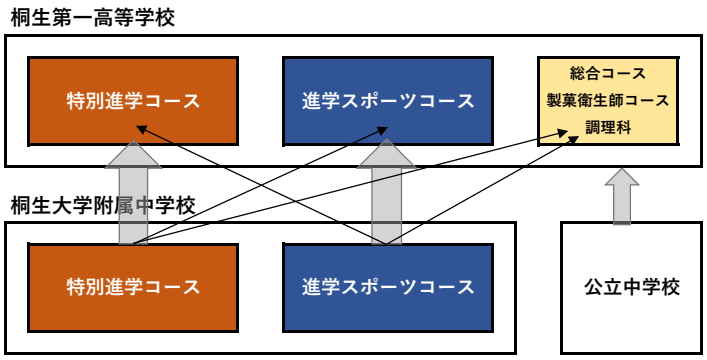
1. 運動部（強化指定クラブ）に所属し全国大会出場を目指す。
2. 文武両道を心掛け、6カ年継続した一貫教育の利点を生かし、大学合格を果たす。

総合コース
製菓衛生師コース
調理科

●桐生第一高校他コースへの進学も可能。

○ 特別進学コース　進学スポーツコース　2コース制について

特別進学コースと進学スポーツコースの2コース制により運営をしています。



※大学進学とその先の将来を見据えた進路指導をしていきます。中学特別進学コースは高校特別進学コース、中学進学スポーツコースは高校進学スポーツコースへの内部進学が原則ですが、本人の適性を考え、内部（他コース）・外部を含めて、幅広い進路指導を行います。

特別進学コースでは、幅広い知識と教養を身につけ、さらに併設校の桐生第一高校特別進学コースに内部進学することで6カ年一貫教育の利点を生かし、国公立大学・難関私立大学への進学を目指します。

令和3年度実績（中学）

特別進学コース5名、総合コース1名

外部進学4名（足利高校、桐生清桜高校、桐生工業高校、翔洋学園高校）

令和3年度実績（高校）

一貫生

東京海洋大学　海洋工学部　海洋電子機械工学科　日本大学　文理学部　日本大学　理工学部　東海大学　海洋学部　東京工芸大学　芸術学部　東京家政大学　家政学部　他

外部生

群馬大学　共同教育学部　群馬大学　理工学部　茨城大学　農学部　群馬県立県民健康科学大学　診療放射線学部　都留文科大学　文学部　日本大学　理工学部　文教大学　文学部　群馬パース大学　医療技術学部　群馬パース大学　看護学部　他

〈過去の実績〉

【国公立大学】

北海道大学　東北大学　筑波大学　お茶の水女子大学　東京外国語大学　東京学芸大学　東京農工大学　千葉大学　横浜国立大学　大阪大学　金沢大学　**秋田大学　医学部　医学科（R2年度　一貫生）**　群馬大学　高崎経済大学　県立女子大学　県民健康科学大学　他

【私立大学】

早稲田大学　慶應大学　上智大学　東京理科大学　明治大学　青山学院大学　立教大学　中央大学　法政大学　学習院大学　立命館大学　同志社大学　**独協医科大学　医学部　医学科(R 元年度　一貫生）**　他

進学スポーツコース（サッカー）では、「スポーツ」と「勉強」の両立をしながら、中学・高校ともに全国大会出場と頂点を目指します。さらに併設校の桐生第一高校進学スポーツコースに内部進学することで6カ年一貫教育の利点を生かし、国公立大学・MARCH クラスの有名私立大学進学を目指します。

令和3年度実績（中学）

進学スポーツコース3名

外部進学3名（太田高校、伊勢崎高校、足利大学附属高校、市立前橋高校、伊勢崎工業高校、館林高校、拓殖大学紅陵高校）

※令和元年度参考

鳳学園高校2名、日体大柏高校1名

令和3年度実績（高校）

進学スポーツコース（サッカー部、野球部、バスケットボール部、陸上部、柔道部）

鹿屋体育大学／群馬大学／高崎経済大学／早稲田大学／慶応大学／明治大学／青山学院大学／法政大学／関西大学／日本大学／東洋大学／専修大学／駒沢大学／神奈川大学／順天堂大学／明治学院大学／國學院大學／大東文化大学／東海大学／亜細亜大学／国士舘大学／帝京大学／日本体育大学／仙台大学／国際武道大学　他

プロ選手

乾大知／黄大城／蜂須賀孝治／鈴木武蔵／乾貴哉／若月大和

<進学スポーツコース（サッカー）過去の実績>

高円宮杯 JFA U-18 サッカー **東日本プレミアリーグ　2022 初出場**

高円宮杯 JFA U-18 サッカー 関東プリンスリーグ　出場　6回

高円宮杯 JFA U-18 サッカーリーグ 群馬県1部リーグ

高円宮杯 JFA U-18 サッカーリーグ 群馬県2部リーグ

群馬県ルーキーリーグ

全国高等学校サッカー選手権大会　出場　2回（ベスト8　1回）

全国高等学校総合体育大会　出場　3回

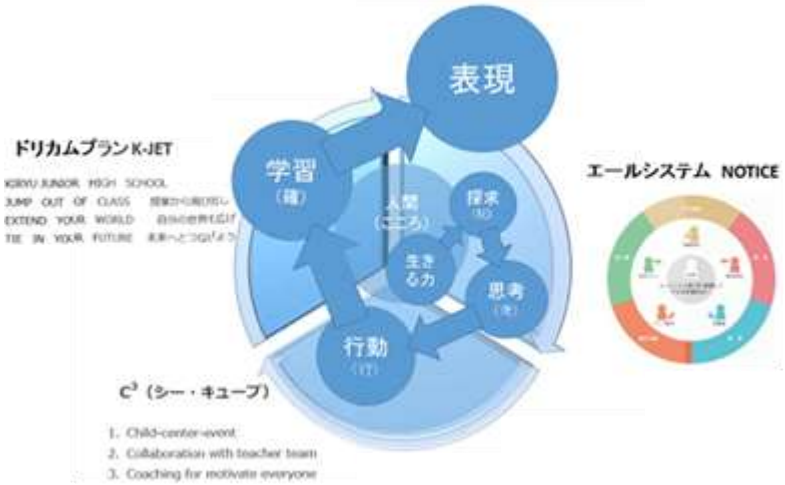
関東高等学校サッカー大会　出場　7回（3位　3回）

群馬県高等学校総合体育大会

群馬県新人大会

〇教育の柱

教員は次のサイクルを意識しながら、すべての教育活動を行っています。
「生きる力」を育むために、知（自ら知り）考（自ら考え）行（自ら行い）確（自ら確かめる）の過程を大切にして、表現（プレゼンテーション・レポート・論文など）するまでを「１サイクル」と考えて、あらゆる場面でこのサイクルを実行することを心掛けています。さらに、この表現（アウトプット）は日本語と英語で行うことに挑戦しています。

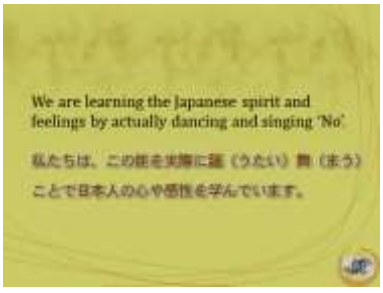


実践例1

日本の伝統文化「能」授業

「自ら行い、自ら確かめる授業」

「日本語と英語で、表現します。」



実践例2

日本語と英語の学級日誌

日々の学級日誌は日本語と英語で感想を書くという取り組みをしています。

中1　学級日誌

実践例3

中2　**フィリピンとのオンライン交流**

R2 年度、英語科を中心にフィリピンとのオンライン交流を実施しました。SDGs としての取り組みも兼ねながら、フィリピンのゴミ山の問題を解決することを考え、提案をしました。

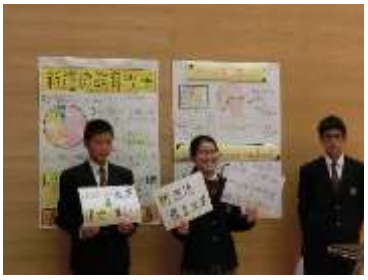
★ 『対話力』『考える力』『国際対応力』

本校は 21 世紀型先進教育を目指しています。教育の柱である『知考行確』を実践して、『対話力』『考える力』『国際対応力』 の3つ力を身に付けていくことが、これからの時代を生き抜くためには大切と考えています。

1. クエスエデュケーションプログラム

探究という学び、クエストエデュケーション。全国の中高生が、実在の企業や先人を題材に答えのない課題に取り組む「クエストエデュケーション」。仲間と共に話し合い、考え抜き、生み出した探求の成果を、企業の方たちに対して、パワーポイント・原稿・動画を作成して企画案を提出します。企業に認められた各10チームが全国大会に出場することができます。

平成 28 年度導入、6年連続全国大会出場を果たしました。ソーシャルチェンジ部門に出場した1年生チームは、平成 30 年度全国グランプリを受賞しました。



2. プレエンパワーメントプログラム

将来の日本、さらに言えばこれからの世界を担う潜在能力の高い日本の若者を対象に、欧米の一流大学に学ぶ大学生・大学院生とのプロジェクトやディスカッションを通じて刺激を受け、異文化理解力、英語力の更なる必要性に気づかせ、日本人とは何か、自己とは何かを考える機会を理屈や知識で教えるのではなく体験・体感させることにより理解させることを目的とした短期国内研修です。本校では通常高校生が行うこのプログラムをプレエンパワーメントプログラムとして 3 年生で実施します。

3. 中期留学プログラム

中高一貫校の利点を生かし、中3の 3 学期に3か月間、ニュージーランドへの中期留学ができるようにしました。希望者による実施です。中学で学ぶ内容は、12 月に終了するので安心して、海外研修に参加することができます。短期留学では英語力向上はあまり期待できませんが、中期留学であれば英語力の向上にかなり期待ができます。また、異文化に触れることで、国際感覚をしっかり身に付け、視野を大きく広げることができるでしょう。

★ ICT 教育

本校は全館無線LANを完備し、端末さえあればいつでもインターネットに接続する環境が整っています。プロジェクターやデジタル教材、多様なクラウドサービスも積極的に導入。生徒・保護者・先生それぞれをオンラインで結び、授業やテストの添削、家庭への連絡なども一気に効率化。授業中に提出された解答をリアルタイムに先生が添削したり、生徒全員の解答をプロジェクターに投影したりすることも可能です。学習記録やポートフォリオも共有できるので、生徒たちは毎日の振り返り（リフレクション）を行うことができるし、教員はそれに対応することができます。自宅でログインするだけで学校とつながり、コミュニケーションツールとしても機能しています。

1. Epson Projecter

PC とつなぐことで、デジタル教科書による授業や動画を配信、インターネットによる資料の投影などが教室で行えるようになりました。インタラクティブ機能搭載のプロジェクターには電子ペンでの書き込みや共有が自由に。

2. 端末は chromebook を採用

Google 社の OS を搭載したノートパソコン『chromebook（クロームブック）』を 2017 年度から導入し、生徒一人ひとりが自由に使えるようにしています。作業は基本クラウド上で行われ、アプリなどをインストールすることがなく安全。タブレットとして使えるほか、物理キーボードが備わっているためタイピングも身に着けることが可能です。

3. Google Workspase for Education の導入

Google が提供する無償の教育ツール。課題の配布や提出、採点、コメントなど授業内のあらゆる活動を一か所で実現。パワーポイントやワード・エクセルと同様の機能を搭載し、作成データを保存・共有することも可能です。

4. classi

「先生の授業」「生徒の学習」「生徒・保護者・先生のコミュニケーション」をサポート。テストを受けたり学習動画を見たり、定期試験の結果を確認することも可能。アンケートや学習記録などコミュニケーションも円滑に。

5. ソフトバンク pepper を活用したプログラミング

ソフトバンクのpepperを利用したプログラミング授業を行っています。生徒会やクラブ活動、オープンスクールなど、生徒たち主体で活用しています。

6. 英語科 オンライン英会話（JTB）＆目標スコア別トレーニング（ベネッセ）

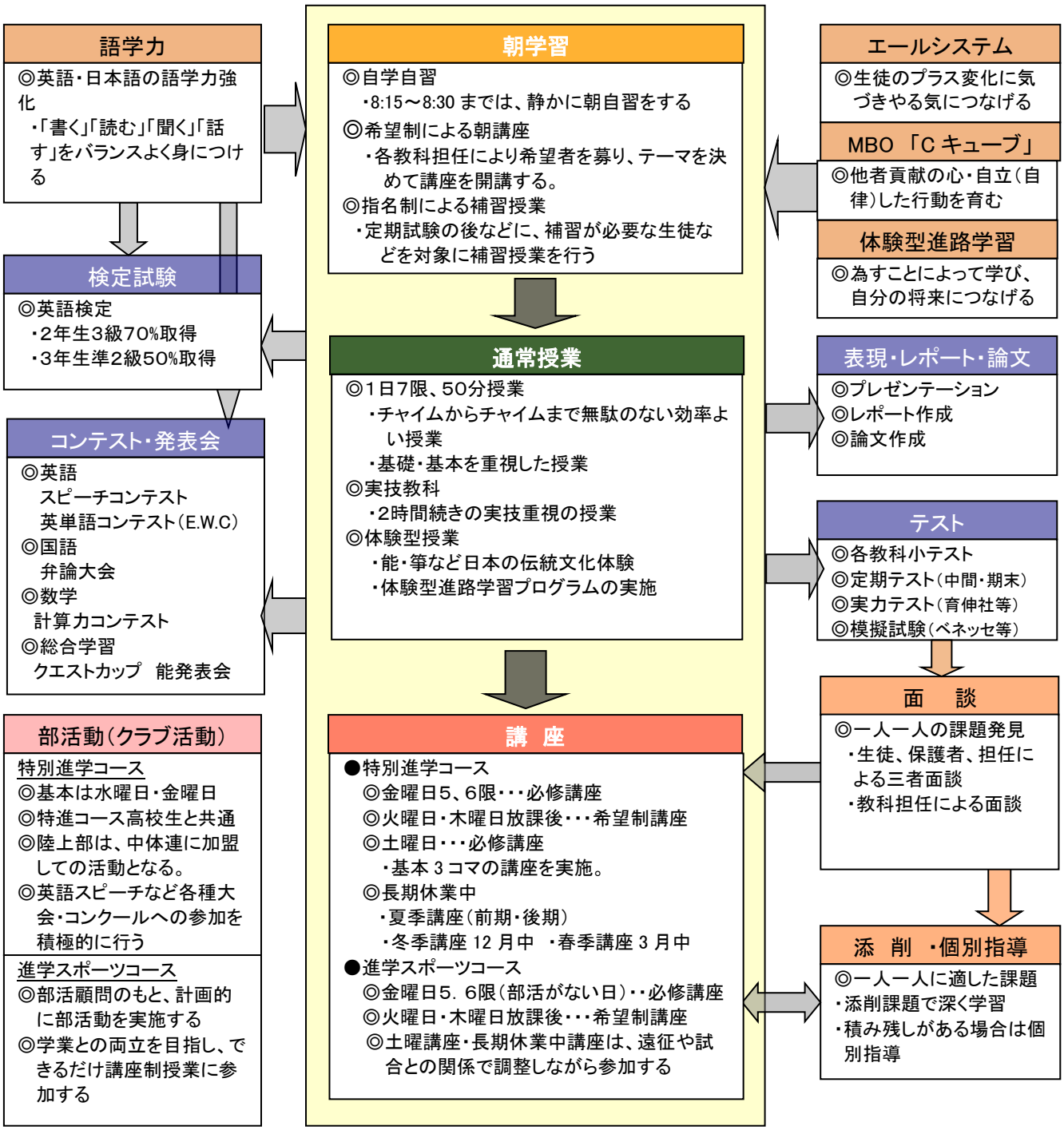
中学3年生では、国内留学生と議論するプレエンパワーメントプログラムと並行して、オンライン英会話を行います。また、今年度より4技能を向上させるため目標スコア別トレーニングアプリを導入します。

授　業　の　概　要

1.　学習システム

『生徒一人ひとりを大切にする教育』を、より具体的な形・よりわかりやすいシステムで具現化していくことが基本ビジョンにあります。したがって、授業においても関連性を重視し教師が連携しやすい学習システムを構築していくことが大切であると考えています。以下に説明するシステムは常に見直し、一人ひとりの生徒の状況に合ったシステムへと見直していくものとします。

○ シ ス テ ム 表



○　校時表　（中学）

平常（月～金）	
朝自習	8：15 ～ 8：30
SHR	8：30 ～ 8：40
清掃	8：40 ～ 8：55
1	9：00 ～ 9：50
2	10：00 ～ 10：50
3	11：00 ～ 11：50
4	12：00 ～ 12：50
昼	12：50 ～ 13：40
5	13：40 ～ 14：30
6	14：40 ～ 15：30
7	15：40 ～ 16：30
終礼	16：35 ～ 16：45
講座	17：00 ～ 17：50

短縮（月～金）	
朝自習	8：15 ～ 8：30
SHR	8：30 ～ 8：40
清掃	8：40 ～ 8：55
1	9：00 ～ 9：40
2	9：50 ～ 10：30
3	10：40 ～ 11：20
4	11：30 ～ 12：10
昼	12：10 ～ 13：00
5	13：00 ～ 13：40
6	13：50 ～ 14：30
7	14：40 ～ 15：20
終礼	15：25 ～ 15：35
講座	15：50 ～ 16：40

土曜日	
SHR	8：30 ～ 8：40
1	8：40 ～ 9：30
2	9：40 ～ 10：30
3	10：40 ～ 11：30
終礼	講座終了後

平常　完全下校　18:30

土曜　完全下校　13:30(12:30)

スクールバス(標準)

登校時　1便(尾島・木崎方面)
尾島体育館7:10発 ⇒ 桐生大学附属中学校8:25着

登校時　2便(新桐生方面)
新桐生駅7:35発 ⇒ 桐生大学附属中学校7:50着

登校時　3便(新桐生方面)
新桐生駅8:10発 ⇒ 桐生大学附属中学校8:25着

下校時　5便(尾島・木崎方面)
桐生第一高校17:00発 ⇒ 新桐生駅17:25着

下校時　6便(尾島・木崎方面)
桐生第一高校16:50発 ⇒ 尾島体育館17:50着

下校時　7便(新桐生方面)
桐生大学附属中学校19:00発 ⇒ 新桐生駅19:20着

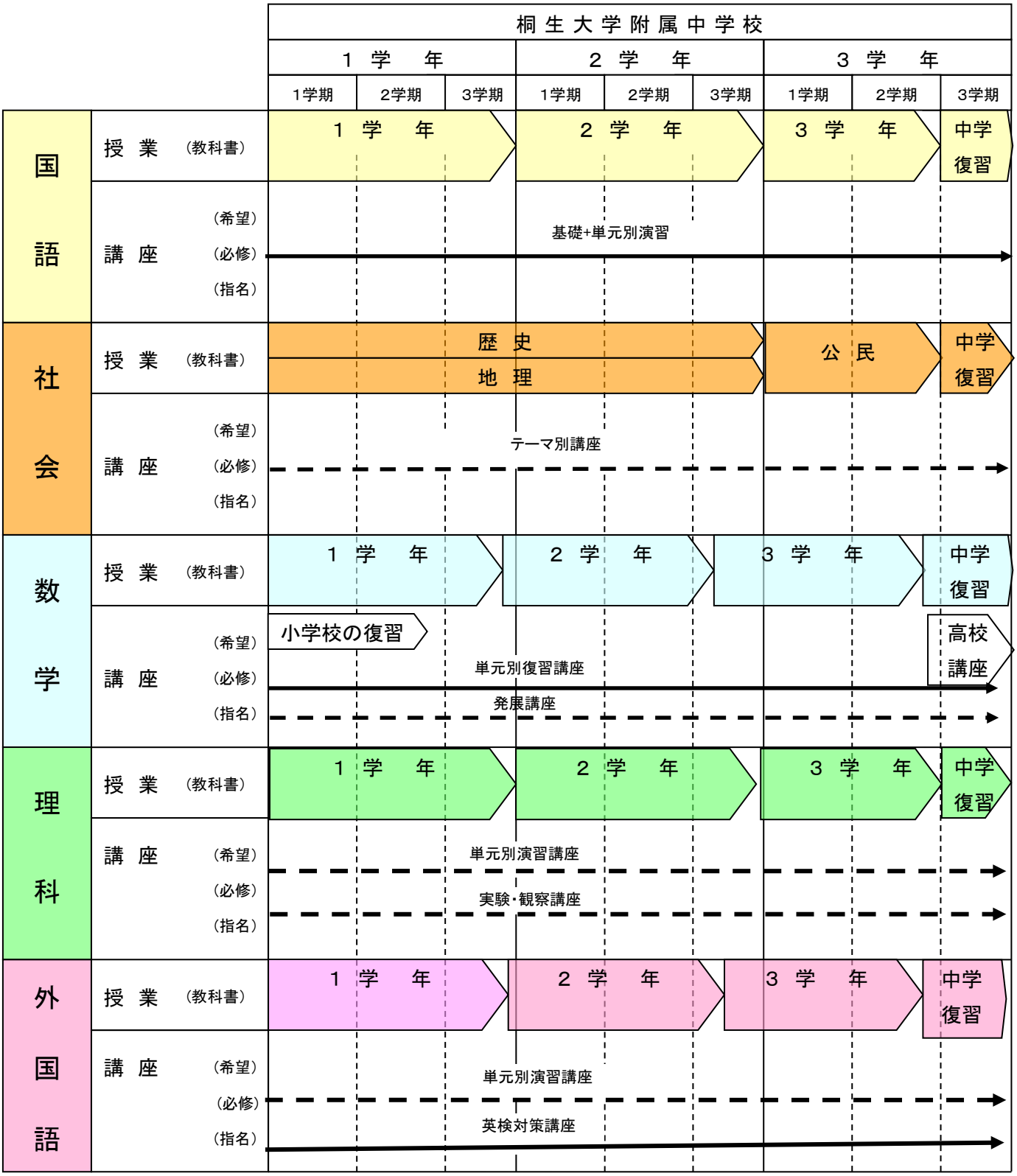
○　深掘学習の考え方

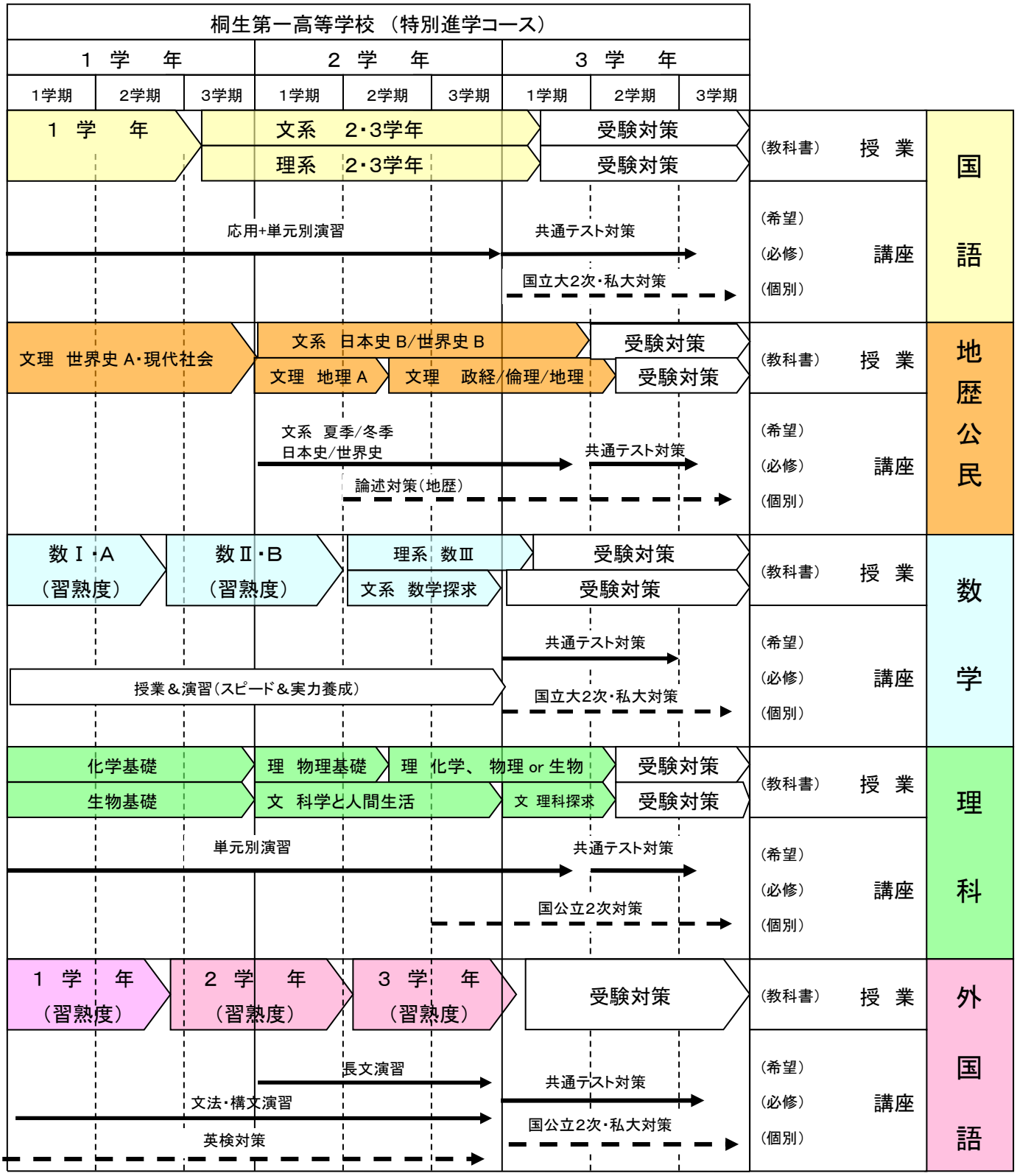
私たちは先取り学習を行わず、深掘学習を行っています。高校・大学・社会人になっても通用する『幅広い知識と教養教育』という観点で深堀学習を組み立てます。その内容は基礎基本を大切にし、探究心を養い、応用力のある幅広い知識と豊かな教養を身につける内容が含まれます。

優れた語学力を養うことは教育目標の一つであり、例えば英語教育や国際教育においては、読むこと・話すこと・聞くこと・書くことをバランス良く行います。桐生大学附属中学では、教科書は学習の基本線と考えますが、語学力に関しては、音読を重視した学習など積極的に進めています。

また、理数教育においては、常に理数科学への関心を高める働きかけを行っていきます。実践教育として繰り返し学習やレポート作成、論述などを行い知識・技術の向上につなげていくとともに、全ての生徒に理数系の論理構成、思考力を根づかせたいと考えます。

2．6カ年中高一貫カリキュラム （特別進学コースの場合） ※進学スポーツコースの教育課程表は別途




桐生第一高等学校 （特別進学コース）
１ 学 年
２ 学 年
３ 学 年
1学期
2学期
3学期
１ 学 年
文系 2･3学年
理系 2･3学年
受験対策
受験対策
（教科書） 授 業
国語
応用+単元別演習
共通テスト対策
国立大2次･私大対策
（希望）
（必修） 講座
（個別）
文理 世界史 A･現代社会
文系 日本史 B/世界史 B
文理 地理 A
文理 政経/倫理/地理
受験対策
受験対策
（教科書） 授 業
地歴公民
文系 夏季/冬季
日本史/世界史
共通テスト対策
論述対策（地歴）
（希望）
（必修） 講座
（個別）
数Ⅰ･A
（習熟度）
数Ⅱ･B
（習熟度）
理系 数Ⅲ
文系 数学探求
受験対策
受験対策
（教科書） 授 業
数学
共通テスト対策
授業＆演習（スピード＆実力養成）
国立大2次･私大対策
（希望）
（必修） 講座
（個別）
化学基礎
生物基礎
理 物理基礎
文 科学と人間生活
理 化学、 物理 or 生物
文 理科探求
受験対策
受験対策
（教科書） 授 業
理科
単元別演習
共通テスト対策
国公立2次対策
（希望）
（必修） 講座
（個別）
１ 学 年
（習熟度）
２ 学 年
（習熟度）
３ 学 年
（習熟度）
受験対策
（教科書） 授 業
外国語
長文演習
共通テスト対策
文法･構文演習
国公立2次･私大対策
英検対策
（希望）
（必修） 講座
（個別）

3. 教育課程

【中学校教育課程】

50分授業を基本とします。

技術家庭・美術は2時間続きの授業とします。

各教科の関連性を重視し、年間計画に合わせたカリキュラム編成。

中学の授業時間数

教　科		1年		2年		3年	
		標準単位	**本校**	標準単位	**本校**	標準単位	**本校**
国語		4	**4**	4	**4**	3	**4**
社会		3	**3**	3	**3**	4	**4**
数学		4	**4**	3	**4**	4	**4**
理科		3	**3**	4	**4**	4	**4**
音楽		1.3	**1.3**	1	**1**	1	**1**
美術		1.3	**1.3**	1	**1**	1	**1**
保健体育		3	**3**	3	**3**	3	**3**
技術家庭		2	**2**	2	**2**	1	**1**
外国語		4	**5**	4	**4**	4	**4**
道徳		1	**1**	1	**1**	1	**1**
総合学習		1.4	**1.4**	2	**2**	2	**2**
特別活動		1	**1**	1	**1**	1	**1**
合計		29	**30**	29	**30**	29	**30**
プラスα授業	英語				1		1
	数学		1		1		1
	社会		1				
プラスα授業を加えた単位数			32		32		32

〇カリキュラムマネジメントの工夫

・朝：15 分間の自学自習　希望制の講座授業、指名制の補習授業

・特進はプラス αの授業

・火曜日・木曜日に希望制の講座授業

・進学スポーツは金曜日の午後に部活動

中学　特進

	月	火	水	木	金	土
朝	希望講座/朝自習/朝練習					
1限	授　業					必修講座
2限						
3限						
4限						
5限					必修講座	
6限					必修講座	
7限					クラブ活動	
放課後	個別	希望講座	クラブ活動	希望講座		

中学　進スポ

	月	火	水	木	金	土
朝	希望講座/朝自習/朝練習					
1限	授　業					必修講座 部活動
2限						
3限						
4限						講座がある場合は午後部活動
5限					部活動 必修講座の場合あり	
6限						
7限						
放課後	個別	部活動 希望講座	部活動	部活動・希望講座	個別	

【高等学校教育課程】

学習指導要領の改訂と大学入試制度（特に大学入学共通テスト）の改変があるため、教育課程表は変わります。

教科	科目	普通科 特別進学				
		1年	2年		3年	
			文	理	文	理
国語	現代の国語	2				
	言語文化	3				
	論理国語		2	2	2	2
	文学国語		1		3	
	古典探究		2	2	2	2
	日本語探究			1		1
	論文考察					
地理歴史	地理総合		2	2		
	地理探究				③	
	歴史総合	2				
	日本史探究		④			
	世界史探究		④			
	地理演習A					③
	地理演習B				②	
	日本史演習				⑤	
	世界史演習				⑤	
公民	公共	2				
	倫理				③	
	政治・経済				②	
	公民演習					③
数学	数学Ⅰ	4				
	数学Ⅱ		4	4		
	数学Ⅲ					4
	数学A	2				
	数学B		2	2		
	数学C		1	1		1
	数学探究A					4
	数学探究B				4	
理科	科学と人間生活		2			
	物理基礎			2		
	物理			②		②
	化学基礎	2				
	化学			2		2
	生物基礎	2				
	生物			②		②
	理科探究				4	
	物理演習					②
	化学演習					2
	生物演習					②
保健	体育	2	3	3	2	2
体育	保健	1	1	1		
術芸	音楽Ⅰ		2	2		
	美術Ⅰ					
外国語	英語コミュニケーション	3				
	英語コミュニケーション		4	4		
	英語コミュニケーション				4	4
	論理・表現Ⅰ	2				
	論理・表現Ⅱ		2	2		
	論理・表現Ⅲ				2	2
	英語演習Ⅰ	2				
	英語演習Ⅱ				1	1
家庭	家庭基礎	2				
情報	情報Ⅰ	2				
総合的な探究の時間		1	2	2		
体育	選択実技Ⅰ					
	選択実技Ⅱ					
	選択実技Ⅲ					
小計		34	34	34	34	34
ホームルーム		1	1	1	1	1
合計		35	35	35	35	35

教科	科目	普通科 進学スポーツ				
		1年	2年		3年	
			文	理	文	理
国語	現代の国語	2				
	言語文化	2				
	論理国語		2	2	2	2
	文学国語					
	古典探究		2		2	
	日本語探究					
	論文考察				1	
地理歴史	地理総合		2	2		
	地理探究					
	歴史総合	2				
	日本史探究		3			
	世界史探究					
	地理演習A					
	地理演習B					
	日本史演習				3	
	世界史演習					
公民	公共	2				
	倫理					
	政治・経済					
	公民演習					
数学	数学Ⅰ	3				
	数学Ⅱ		3	4		
	数学Ⅲ					3
	数学A	2				
	数学B			2	2	
	数学C					2
	数学探究A					
	数学探究B					
理科	科学と人間生活				2	
	物理基礎			2		
	物理					③
	化学基礎	2				
	化学					4
	生物基礎		2	2		
	生物					③
	理科探究					
	物理演習					
	化学演習					
	生物演習					
保健	体育	3	2	2	2	2
体育	保健	1	1	1		
術芸	音楽Ⅰ					
	美術Ⅰ				2	2
外国語	英語コミュニケーション	3				
	英語コミュニケーション		3	3		
	英語コミュニケーション				4	
	論理・表現Ⅰ	2				
	論理・表現Ⅱ		2	2		
	論理・表現Ⅲ				2	2
	英語演習Ⅰ					2
	英語演習Ⅱ					
家庭	家庭基礎		2	2		
情報	情報Ⅰ				2	2
総合的な探究の時間		1	1	1	1	1
体育	選択実技Ⅰ	4				
	選択実技Ⅱ		4	4		
	選択実技Ⅲ				4	4
小計		29	29	29	29	29
ホームルーム		1	1	1	1	1
合計		30	30	30	30	30

4. 各教科の概要

国語で輝く

【学習進度】

<table>
<tr><th colspan="2">中学1年</th><th colspan="2">中学2年</th><th colspan="2">中学3年</th></tr>
<tr><th>通常授業</th><th>講座制授業</th><th>通常授業</th><th>講座制授業</th><th>通常授業</th><th>講座制授業</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1学期
◎説明文
◎物語
2学期
◎説明文
◎古典
◎物語
◎国文法
3学期
◎説明文
物語
百人一首
全学期
◎書写</td><td rowspan="2">◎漢字
◎記述問題対策</td><td rowspan="2">1学期
◎説明文
◎短歌・俳句
2学期
◎説明文
◎古典
◎物語
◎国文法
3学期
◎物語
◎百人一首
全学期
◎書写</td><td rowspan="2">◎漢字
◎記述問題対策</td><td>1学期・2学期
◎説明文
◎古典
◎物語
◎国文法
◎書写</td><td>◎漢字
◎記述問題対策</td></tr>
<tr><td colspan="2">1月以降</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td>通常授業</td><td>講座制授業</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td>◎説明文
◎国文法
◎漢字のまとめ
◎百人一首</td><td>◎説明文
◎百人一首</td></tr>
</table>

【成果目標】

「文章を読み解く力」を身につけます。

【通常授業のすすめ方】

教科書中心で文章の読解・鑑賞・漢字学習を行います。教科書の単元の終了後は、同じテーマの文章を用いて問題演習を行います。

3年生1月頃に教科書の内容を終えて、問題練習中心の授業になります。

【講座制授業のすすめ方】

◎ 説明文の問題演習を中心に取り組み、基本的な読解力（内容を正確に読み取る力）を身につけます。また、言葉（漢字・慣用句・ことわざ）の強化を行います。

◎ 30字～40字で答えをまとめる練習をします。（添削を行います）

【使用教材（予定）】

教科書　国語（光村図書）　中学書写（光村図書）

資料集　国語の便覧(正進社)

副教材　光村の国語のワーク(光村教育図書)

学習漢字ノート(浜島書店)

イラスト国語文法(光村教育図書)

社会で輝く

【学習進度】

<table>
<tr><th colspan="2">中学1年</th><th colspan="2">中学2年</th><th colspan="2">中学3年</th></tr>
<tr><td colspan="2">通常授業</td><td colspan="2">通常授業</td><td colspan="2">通常授業</td></tr>
<tr><td>地理</td><td>歴史</td><td>地理</td><td>歴史</td><td colspan="2">公民</td></tr>
<tr><td>◎世界のすがた
◎世界各地の人々の生活と環境
◎世界の諸地域</td><td>◎歴史の流れ
◎身近な地域の歴史
◎古代までの日本
◎中世の日本
◎近世の日本</td><td>◎日本の姿
◎世界からの見た日本の姿
◎日本の諸地域
◎身近な地域の調査</td><td>◎開国と近代日本の歩み
◎二度の世界大戦と日本
◎現代の日本と世界
3年生で実施の場合あり</td><td colspan="2">◎現代社会とわたしたちの生活
◎人間の尊重と日本国憲法
◎現代の民主政治と社会
◎わたしたちの暮らしと経済
◎地球社会とわたしたち</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td><td colspan="2">1月以降</td></tr>
<tr><td colspan="2">講座制授業</td><td colspan="2">講座制授業</td><td>通常授業</td><td>講座制授業</td></tr>
<tr><td>◎テスト後補習
◎気候グラフの判定
◎各地域を深く学習する講座
◎問題演習</td><td>◎テスト後補習
◎古代ローマ
◎中世ヨーロッパ
◎近世のヨーロッパ
◎問題演習</td><td>◎テスト後補習
◎地形図読図
◎防災を考える
◎時差
◎問題演習</td><td>◎テスト後補習
◎近代ヨーロッパ
◎歴史年表作成
◎歴史年号暗記
◎問題演習</td><td>◎3年間の積み残し
◎地理演習
◎歴史演習
◎公民演習</td><td>◎受験対策講座
◎高校への歴史
◎高校への地理</td></tr>
</table>

【成果目標】

風はなぜ吹くのでしょうか？漁場はどんな場所につくられるのでしょうか？日本海側ではなぜ冬に雪が多く降るのでしょうか？これらの問いに記述で答えられる力をみにつけます。

◎ 歴史の流れが記述できる。因果関係がわかる。

◎ 世界の国名・都市・自然環境、日本の都道府県・都市・自然環境を地図上で理解している。

◎ 地理・歴史・公民分野の各授業の中で、自ら調べて発表する。その際にICTの技能を使い、グループに分かれてコミュニケーションを通して行う。

【通常授業のすすめ方】

1・2年では地理・歴史を並行して進めます。3年生では12月まで公民分野を進めます。

3年1月以降は、地理・歴史・公民の総復習をしていきます。

【講座制授業のすすめ方】

次の2つの目的をもって講座を開講する。

◎ もっと深く学習したい生徒のための講座。　◎ 基礎を学びたい生徒のための講座

【ICT】

Classi、google　classroomを活用して協働学習を行います。

googleスライドを使って、プレゼンテーションを行います。

【使用教材（予定）】

教科書　地理(東京書籍)　歴史(東京書籍)　公民(東京書籍)

資料集　学び考える歴史(浜島書店)　最新地理資料集(明治図書)

公民の資料（正進社）　新編　中学校社会科地図初訂版(帝国書院)

副教材　SIRIUS 社会　オリジナルプリント

数学で輝く

【学習進度】

<table>
<tr><th colspan="2">中学1年</th><th colspan="2">中学2年</th><th colspan="2">中学3年</th></tr>
<tr><th>通常授業</th><th>講座制授業</th><th>通常授業</th><th>講座制授業</th><th>通常授業</th><th>講座制授業</th></tr>
<tr><td>◎正負の数
◎文字と式
◎方程式
◎比例と反比例
◎平面図形
◎空間図形
◎データの分析と活用
◎式の計算</td><td>※各単元終了後に復習講座を開講</td><td>◎連立方程式
◎1次関数
◎平行と合同
◎三角形と四角形
◎確率
◎データの比較
◎多項式
◎平方根
◎2次方程式</td><td>※各単元終了後に復習講座を開講</td><td>◎2次方程式
◎関数 $y = ax^2$
◎相似な図形
◎円
◎三平方の定理
◎標本調査</td><td>※各単元終了後に復習講座を開講</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td><td colspan="2">10月以降</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td><td>通常授業</td><td>講座制授業</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td><td>実力養成期間
※総合問題演習を行い、実力を養成するとともに弱点を克服する。</td><td>◎整式
◎実数
◎方程式と不等式
◎2次関数</td></tr>
</table>

【成果目標】

◎ 数学的なものの見方、考え方を養います。数学の大切さに気づき、論理性を身につけます。論理は言語力とも関連します。数学力と言語力の両輪で真の思考力を身につけます。

◎ 定期考査・実力試験では得点率60%を目標とします。

【通常授業のすすめ方】

教科書の例題や問題集の問題に取り組んでいきます。単元ごとの問題演習、定期テストで到達度をチェックしながら進めていきます。3年生の1月からは総仕上げの総合問題演習を行い、中学校の内容の総復習と実力の養成を行います。計算規則を正しく覚えるなど基本事項を大切にし、学んだ知識を運用できるように学習していきます。そうした毎日の勉強を続けていくことで、問題解決能力を身につけます。

【講座制授業のすすめ方】

◎ 各単元学習中に演習講座、各単元終了後には復習講座をそれぞれ開講します。

◎ 希望講座（一部必修講座）にて小学校復習講座や応用講座を開講し、基礎力の定着や実践力を身につけていきます。

◎ 希望講座にて数学検定対策講座を設け、数検取得に向けて過去問などを用いて得点力を身につけます。

【朝学習のすすめ方】

計算問題や文章題、関数、確率（2年）、データの分析の活用（1年）などバランスよく学習し、学習中の内容の定着と既習内容の復習を通じて、積み重ねが大切な数学の力を養っていきます。

【使用教材（予定）】

教科書　・新しい数学（東京書籍）

副教材　・新しい数学　基礎からの問題集（東京書籍）　・新中学問題集（教育開発出版）

・シリウス21まとめと完成　数学（育伸社）（3年次）

理科で輝く

【学習進度】

<table>
<tr><th colspan="2">中学1年</th><th colspan="2">中学2年</th><th colspan="2">中学3年</th></tr>
<tr><th>通常授業</th><th>講座制授業</th><th>通常授業</th><th>講座制授業</th><th>通常授業</th><th>講座制授業</th></tr>
<tr><td>1植物の世界
2身のまわりの物質
3身のまわりの現象
4大地の変化</td><td>◎復習講座
◎計算演習講座
◎実験講座
◎発展講座</td><td>1化学変化と原子・分子
2動物の生活と生物の変遷
3天気とその変化
4電流の世界</td><td>◎復習講座
◎計算演習講座
◎実験講座
◎発展講座</td><td>1化学変化とイオン
2生命の連続性
3運動とエネルギー
4地球と宇宙
5地球と私たちの未来のために</td><td>◎復習講座
◎実験講座
◎発展講座</td></tr>
<tr><td colspan="4" rowspan="3"></td><td colspan="2">1月以降</td></tr>
<tr><td>通常授業</td><td>講座制授業</td></tr>
<tr><td>◎問題演習
◎中学の総復習</td><td>◎問題演習講座</td></tr>
</table>

【成果目標】

実験や観察を通した体験型の学習によって、理科の楽しさや理論的な考え方を学びます。人類が蓄積してきた自然に関する知識を無理なく修得することを目指し、以下の項目を成果目標に掲げます。

◎ 興味と関心を持ち自然現象を観察することが出来る。

◎ 科学の知識を活かして、自然現象を理解することが出来る。

◎ 自ら考え、調べ、実験したことをまとめ、発表できる。

【通常授業のすすめ方】

1年生では自然観察の活動を通した仲間づくりからはじめ、観察・実験・まとめ方（レポート）を学びます。2年生では実験を通して考える力を身に付け、3年生の12月までには教科書を終わらせ、1月からは中学校の総復習を行い、高校進学に向けた基礎力の定着・実力養成ができる体制を整えています。

また、プロジェクターを使用し、図や写真、動画をうつして理解を深めます。

【講座制授業のすすめ方】

◎ 単元ごとの復習や計算問題の演習を行います。

◎ 発展内容の実験は講座制の時間を活用します。

【使用教材（予定）】

教科書　未来へひろがるサイエンス（啓林館）

資料集　最新理科便覧（浜島出版）

副教材　理科ノート（新学社）

Key ワーク 理科（教育開発出版）

実力養成プリント（オリジナル）

英語で輝く

【学習進度】

<table>
<tr><th colspan="2">中学1年</th><th colspan="2">中学2年</th><th colspan="2">中学3年</th></tr>
<tr><th>通常授業</th><th>講座制授業</th><th>通常授業</th><th>講座制授業</th><th>通常授業</th><th>講座制授業</th></tr>
<tr><td>1学期
◎アルファベット
◎日常の会話,数字
◎動詞：3単現
◎代名詞
◎英語暗唱
2学期
◎疑問詞
◎助動詞 can
◎動詞：進行形
◎イングリッシュデー①
3学期
◎過去形：一般動詞
◎イングリッシュデー②
◎スピーチコンテスト
◎感嘆文</td><td>◎英検講座
◎復習講座
◎フォニックス講座</td><td>1学期
◎過去形：be 動詞
◎時制：未来
◎不定詞
◎助動詞
◎英語暗唱
2学期
◎接続詞
◎there 構文
◎動名詞
◎イングリッシュ
キャンプ
3学期
◎比較表現
◎受け身
◎スピーチコンテスト</td><td>◎英検講座
◎復習講座
◎フォニックス講座
◎スピーキング講座
◎ライティング講座
◎イングリッシュキャンプ準備講座</td><td>1学期
◎完了形
◎不定詞
◎現在分詞・過去分詞
◎英語暗唱
2学期
◎関係代名詞
◎エンパワーメントプログラム</td><td>◎英検講座
◎復習講座
◎スピーキング講座
◎ライティング講座
◎エンパワーメントプログラム準備講座</td></tr>
<tr><td colspan="4" rowspan="3"></td><td colspan="2">1月以降</td></tr>
<tr><td>通常授業</td><td>講座制授業</td></tr>
<tr><td>◎長文読解
◎文法・構文錬成
◎語彙力強化
◎スピーチコンテスト</td><td>◎中学英語総復習講座
◎英検講座</td></tr>
</table>

【成果目標】

これから私たちは世界の人々と話し合う機会がますます増えていく中で、様々な国々に住む人々と英語で分かり合い、自分の考えを伝えていくために、次のような成果目標を掲げます。

◎ 中学2年の冬までに英検3級以上80%、中学3年の冬までに英検準2級以上50%取得。

◎ 中学2年の夏までに2分間の物語の暗唱、中学3年の冬までに3分間のスピーチ発表ができる。

【通常授業のすすめ方】

教科書を中心に基本文法や語彙を身につけ、「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」 の4技能のトレーニングを行います。3年の9月から12月にかけて、オンライン英会話を行い、集中的に「話す力」を鍛えていきます。そして、3年3学期からは中学校の内容の総復習を行い習得した英語を自在に使えるように実力の定着を図ります。また、中学1年では英語に慣れ親しむために年に1回、1日中英語だけを使用して学習するイングリッシュデーを設けます。中学3年では3日間、海外の留学生と英語を用いて議論やプレゼンテーションを行うエンパワーメントプログラムを設けています。これらを通して、失敗を恐れず積極的に英語を使おうとする姿勢を身につけ、国際社会で活躍するために必要不可欠なコミュニケーション力や、広い視野、リーダーシップの育成を行います。

【講座制授業のすすめ方】

◎ 復習講座では既習事項の定着を図ります。

◎ 1・2年生ではフォニックス講座を設け、フォニックスのルール（「スペリング（つづり）」と「発音」の間にある法則）を学び身につけ、2・3年生では英会話講座を設け、表現のための基礎力強化を図ります。

◎ 希望講座（一部必修講座）にて英検対策講座を設け、英検取得による英語への自信と向上心を養います。

【朝学習のすすめ方】

英単語帳を使って学習し、英語力の基盤となる語彙力を高めていきます。また、基本的な文法事項を含む英文のリスニングを行い、英会話の基本を一から身につけていきます。

【使用教材（予定）】

教科書　New Horizon（東京書籍） Bridge（文部科学省）

副教材　教科書準拠のワーク教材と単元別テスト（教育開発出版・東京書籍など）

英作文 B・C（教育開発出版） 中学版システム英単語と例文書き込みワークブック（駿台文庫）

保健体育で輝く

【学習進度】

中学1年	中学2年	中学3年
通常授業	通常授業	通常授業
◎体ほぐしの運動 ◎陸上競技 ◎球技 （サッカー）（バスケットボール） ◎武道 （柔道） ◎ダンス ◎器械運動 （マット運動） ◎心身の機能の発達と心の健康 ◎体育理論 （運動やスポーツの多様性）	◎体ほぐしの運動 ◎陸上競技（ハードル・高跳び） ◎球技 （ソフトボール）（サッカー）（卓球）（バレー） ◎武道 （柔道） ◎ダンス ◎健康と環境 障害の防止 ◎体育理論 （運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全）	◎体ほぐしの運動 ◎球技 （ソフトボール） （サッカー、バレーボール、バスケットボール、バドミントン） ◎武道、ダンス ◎器械運動 （マット運動、跳び箱運動） ◎健康な生活と病気の予防 ◎体育理論 （文化としてのスポーツの意義）

【成果目標】

◎ できる運動、得意な運動はさらに技術力を伸ばししていきます。できない運動、不得意な運動はなぜできないのかを考え、工夫しながら取り組ませていきます。心身の関係が密接に関連し合っていることを理解することが大切です。

【通常授業のすすめ方】

体育授業については、体つくり運動、準備運動の後に主運動に展開していきます。基礎基本の反復練習、ルールや審判法を身につけ適正な競技やゲーム運営ができるようにしていきます。

保健授業については、教科書、副教材を中心に授業を進め、状況に応じて視聴覚教材を利用していきます。

【講座制授業のすすめ方】

◎ なし

【使用教材（予定）】

教科書　新編　新しい保健体育(東京書籍)

副教材　新しい保健体育　学習ノート(東京書籍)

【ICT】

ダンス・・・ダンスの授業では、課題ダンス・創作ダンスを実施しています。インターネットで振り付けなどを調べます。また途中経過を映像で撮り、振り返りながグループで一つの作品を作っていきます。授業の最後に発表会を行います。

保健・・・教科書の語句や用語を詳しく説明するために、視覚教材を使用します。内容をプロジェクターに投影し、画像や映像でわかりやすい授業を心がけています。

音楽で輝く

【学習進度】

中学1年		中学2年		中学3年
通常授業	箏授業	通常授業	箏授業	通常授業
1学期 ◎校歌 ◎発声の基本学習 ◎姿勢と呼吸法 2学期 ◎日本歌曲 ◎外国歌曲 ◎アンサンブル ◎鑑賞 3学期 ◎アンサンブル ◎鑑賞 全学期 ◎理論	1 学期 ◎基本奏法の習得 ◎小曲の練習 2学期 ◎応用奏法の習得 ◎合奏曲の練習 3 学期 ◎古典に親しむ ◎合奏曲の練習	1学期 ◎日本歌曲 ◎外国歌曲 ◎鑑賞 2学期 ◎日本歌曲 ◎外国歌曲 ◎二部、三部合唱 ◎発表 3学期 ◎器楽と歌の合奏 全学期 ◎理論	1 学期 ◎奏法の復習 2 学期 ◎合奏曲の練習 3 学期 ◎表現力の向上 ◎古典に親しむ	1学期 ◎外国歌曲 ◎鑑賞 ◎日本歌曲 2 学期 ◎アンサンブル ◎外国合唱曲 ◎観賞 ◎発表 3 学期 ◎創作 ◎合唱 ◎合奏 全学期 ◎理論

【成果目標】

表現及び鑑賞等の活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動に必要な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養うことを目標とします。また、アンサンブルにおいては協調性の育成、発表の場においては自己表現力の養成を目標とします。邦楽においては、1，2年次に箏の授業を設け、日本独自の楽器である箏に慣れ親しむことで日本の音楽を身近に感じ、ひいては日本文化への理解を深め、国際人としての自己の確立の一端を担うことを目標とします。

【通常授業のすすめ方】

歌唱活動を通じては、姿勢から呼吸法を学びます。次いで歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲種に応じた発声を心がけ、言葉の特性を生かして歌うよう指導していきます。器楽の活動においては、その楽器の特徴を捉え、基礎的な奏法を見に付けられるよう指導し、理論については、適宜プリントを使用して習得できるようにします。鑑賞においては、国内外の音楽に触れられるよう題材を工夫します。

1年生・・・教科書にある教材と合わせて、校歌を2部合唱で歌えるようにします。
2年生・・・少人数のアンサンブルから合唱、合奏に取り組みます。校歌は4部合唱に取り組みます。
3年生・・・合唱はより高度なものに取り組みます。
又、創作活動として、百人一首に曲をつけて発表します。

【箏授業のすすめ方】

箏を通じて、日本の音階に親しみ、また、楽器としての箏を身近に感じられるよう、古典から童謡まで様々な曲を取り入れます。

1年生・・・簡単な合奏曲と、古典「六段の調べ」に取り組みます。
2年生・・・アンサンブルを楽しめるよう合奏に取り組みます。古典「千鳥の曲」に取り組みます。

【使用教材（予定）】

教科書　中学生の音楽(教育芸術社)　中学生の器楽(教育芸術社)　　箏

技術・家庭で輝く

【学習進度】

中学1年		中学2年		中学3年	
技術分野	家庭分野	技術分野	家庭分野	技術分野	家庭分野
・植物の栽培 ・植物の特徴と生育 ・植え付けと手入れ ・作物の収穫 ・材料の特徴と性質 ・木材の加工 ・製図の書き方 ・木製品の制作	・自分の成長と家族 ・子供の成長 ・手作りおもちゃの製作 ・幼児との交流 ・幼児のおやつ ・家族と家庭生活 ・私たちの快適な住まい	・ｿﾌﾄｳｪｱとﾊｰﾄﾞｳｪｱの役割と働き ・ﾈｯﾄﾜｰｸのしくみ ・情報社会の安全性 ・電気ｴﾈﾙｷﾞｰの種類とその利用 ・ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ制御のﾛﾎﾞｯﾄの考察 ・電気ｴﾈﾙｷﾞｰを利用したものづくり	・食生活と栄養 ・日常食の献立と食品の選び方 ・調理実習 ・衣服の選択と手入れ ・被服製作	・ﾌﾟﾚｾﾞｰｼｮﾝｿﾌﾄの使い方 ・ﾃﾞｨｼﾞﾀﾙﾃﾞｰﾀ部品の作成 ・ｽﾗｲﾄﾞの作成 ・作品の発表会 ・プログラムによる計測・制御	・ミシン縫いの応用 ・家庭生活と消費 ・環境問題について

【成果目標】

◎技術分野　ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的・基本的な知識や技術を習得するとともに、技術と社会・環境との関わりに理解を深め、実生活や実社会に適切に活用する能力を身に付けることを目標とします。

◎家庭分野　自分たちの生活を見つめ返し、衣食住にかかわる生活全般の「自立」を目指します。家庭に関する基礎的・基本的知識の習得と、それをもとに自分の考えをしっかり持ち、健康で快適な生活ができることを目指します。

【通常授業のすすめ方】

◎技術分野　1、2年生は隔週で2時間連続、3年生においては隔週で1時間の授業になります。また、講義以外に実習などの体験的な授業が中心となります。

◎家庭分野　授業で学習したことをもとにして、実践的・体験的な学習を取り入れていきます。附属幼稚園での幼児との交流、ミシンによる小物の製作、被服製作、調理実習などを予定しています。

【使用教材】

◎技術分野　教科書　技術・家庭 （技術分野）　開隆堂
副教材　技術・家庭ノート（技術分野） 新学社
資料集　新　技術・家庭資料集　新学社

◎家庭分野　教科書　技術・家庭 （家庭分野）　開隆堂
副教材　技術・家庭ノート（家庭分野） 新学社
資料集　新　技術・家庭資料集　新学社

美術で輝く

【学習進度】

中学1年	中学2年	中学3年
通常授業	通常授業	通常授業
観る・感じる・つくる	生活の中に生きる美術	社会へ広がる美術
■素描　彫塑 ・自然の形や色を、描き、つくる ■デザイン ・紙の特徴を生かしてつくる ■工芸 ・木の特徴を生かしてつくる ■絵画 ・観て・想像して・描く ■鑑賞 ・自然の美しさをみつける	■構成美の表現 ・様々な表現技法と構成美を楽しむ ■デザイン ・幾何学形態から着想構成する ■工芸 ・堆朱の素材感と伝統工芸を楽しむ ■絵画 ・形や構図を工夫して描く ■鑑賞 ・生活の中で生かされるアートやデザイン	■絵画 ・遠近法、一点透視図法で描く ■デザイン ・レタリングの基本、絵文字で伝える ■工芸 ・光と色彩、和紙でつくる明かり ■鑑賞 ・自然と人間、社会と美術

【成果目標】

「観る」「感じる」「考える」「表現」する活動を通じて、造形的な見方や考え方を働かせる資質や能力を育むこと。生活や社会に関わる美術や文化に対する理解を深めること。鑑賞や作品づくりの中から、美術を愛好する心情を育み、豊かな情操を涵養すること。

様々な素材を使い、「観て」「感じた」ことから、「考え」「判断し」カタチに「表現していく」能力を育むこと、そのための知識や技能の修得、学びを人や社会に生かしていく意欲や態度を育むこと。

【通常授業のすすめ方】

『課題の意図を理解する』→『準備と計画をする』→『構想を練る』→『制作を行う』→『発表・提出する』の順序で学習を進めていきます。

毎回の授業で、教科書と副教材（資料集）、スケッチブックを準備しましょう。
課題の内容を確認・理解し、つくりたい作品、その発想や着想をスケッチブックに描きとめましょう。
スケッチブックは、思いついたアイデアや感じたことを描いたり、ノートとして大切なことを書き留めたりしましょう。

教科書や副教材（資料集）に加え、課題に関連する資料を配布します。重要な事柄の確認と共に、課題の理解を深め、自らも興味を持ち、関係する「もの」や「こと」について調べてみましょう。

作品は、自分を映し出す鏡であり、分身だと思って、制作物に愛情をそそいでください。

【教科の魅力について】

美術は特定の人たちの趣味世界ではありません。日本や世界の文化を理解する上で、アートやデザインは不可欠で、社会に深くかかわる生活にねざした教養です。得手不得手にかかわらず、必ず身に付けるべきものをしっかり修得し、観ること、感じること、考えること、表現することの喜びにつなげていきましょう。

【使用教材】

教科書 ： 1年生：美術1（開隆堂）　2年生/3年生：美術2・3（開隆堂）
副教材 ： 各学年共通 ： 美術資料 群馬の美術 （秀学社）

総合学習で輝く

【学習進度】

中学1年	中学2年	中学3年
通常授業	**通常授業**	**通常授業**
◎クエストエデュケーションプログラム 「ソーシャルチャンジ部門」 「ソーシャルチェンジ」は、自ら社会課題を見つけてその解決に取り組むプログラム。困っている人の問題を自分事としてとらえ、チームで企画を考え、プレゼンテーションをする。 ・文化祭などでポスターセッション ・12 月　校内クエストカップ パワーポイント・原稿・動画を企業に提出。 ・2 月　全国大会	◎クエストエデュケーションプログラム 「コーポレートアクセス部門」 ・5 月～6 社の企業からのミッションに対して、グループに分かれて、答えのない課題に挑戦していく。 ・文化祭などでポスターセッション ・12 月　校内クエストカップ パワーポイント・原稿・動画を企業に提出。 ・2 月　全国大会	◎クエストエデュケーションプログラム 「コーポレートアクセス部門」 ・5 月～6 社の企業からのミッションに対して、グループに分かれて、答えのない課題に挑戦していく。 ・文化祭などでポスターセッション ・12 月　校内クエストカップ パワーポイント・原稿・動画を企業に提出。 ・2 月　全国大会

【成果目標】

体験型進路学習「K-JET」の考え方に従って、総合学習を運用していく。

「ソーシャルチェンジ部門」（2年）

・社会課題を見つけ、仲間との対話を通して課題を解決していくことができる。

「企業探求コース」（２年）

・企業のインターン生となり、仕事内容や社会の役割を知ることで「働くことの意義」を理解する。

・仲間とともにアイデアを出し合い、ミッションをクリアしていく体験を通じて深く探求することを身につける。

【授業のすすめ方】

クエストエデュケーションプログラム

①「ソーシャルチャンジ部門」

「ソーシャルチェンジ」は、自ら社会課題を見つけてその解決に取り組むプログラムです。困っている人の問題を自分事としてとらえ、チームで企画を考え、プレゼンテーションをします。

この取り組みを通して、人の心を動かし、社会を変える第一歩を体験します。まさに、体験型進路学習プログラムです。

②「コーポレートアクセス部門」

実社会の一員としての自覚や日々の学習への目的意識を育てるために、近年更に注目の高まる企業でのインターンシップを、教室で体験できるプログラムです。インターンを体験するにあたり、まず各自の職業意識を確認し、「働くこと」の意義を考えます。その上で、インターン受け入れ企業が紹介され、希望の１社を選択します。体験企業決定後は、新人研修としてのフィールドワークや初仕事としてのアンケート調査を通じて、各企業の仕事内容や社会における役割、企業文化などに動いていきます。

後半では、前半の準備を踏まえて、企業から出されるミッションに取り組みます。ミッション達成に向けて、情報を集め、資料を作成し、最後にチームでプレゼンテーションを行います。

【使用教材】

クエスト　テキストブック（教育と探求社）

こ こ ろ の 教 育

1. エールシステム 『NOTICE』

○ 基本概念

生徒のプラス変化に気づき「やる気」に結びつけるシステム

① 生徒のプラス変化に気づく。
② 意識的に生徒を見ることで気づく。
③ 学校と家庭と地域社会との連携で気づく。
④ 本人にフィードバック。

一般的に学校の先生は生徒の問題行動（マイナス面での変化）は敏感に察知できますが、前向きな行動や姿勢の変化にはなかなか気づかないと言われています。

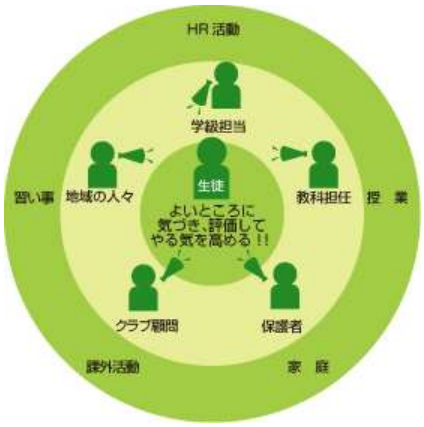
一年間、ずっと前向きな姿勢でいられる子どもはいません。同様にずっとやる気のない状態だという子どももいません。プラス行動とマイナス行動がいろいろな形、場面で交錯して日々過ごしていると考えられます。この時、プラス行動が成果に結びつかず、誰にも評価してもらえないと、そのプラス行動は持続しません。逆にマイナス行動ばかり取り上げられるとどんどんやる気が失われていきます。

エールシステムは生徒のプラス行動を『教員全体で意識的に見ることで発見する』『先生が喜んでいることや応援していることを本人にフィードバックする』という方法でプラス行動を伸ばすというねらいがあります。学校全体で情報を集約することで多くのフォローができます。

○ システムの概要

<u>エールシステムを機能させるために必要なこと</u>

① 生徒一人一人の成長や変化を的確に把握すること。
② 個々の生徒に関する情報が蓄積されやすい環境を作ること。



<u>具体的方法 （状況に応じて方法を工夫）</u>

① 一人一人の生徒に対しての「個人カルテ」を作成する。
② カルテには生徒に関する基本的な情報を記載する。
- 家族構成、進路目標、趣味、特技などの基本調査
- 家庭訪問、面談、添削などの記録
- 生徒の活動記録（学習、課外活動など）

③ 現在は、週に一度教員が生徒のプラス変化を話し合う機会を設けて情報を共有し、生徒にフィードバックしている。

<u>プラス変化に気づくためのより確実な方法</u>

生徒を多角的にあらゆる視点から見ていくことにより変化に気づく可能性を広げていきます。多くの視点をシステムの中に組み込み生徒のプラス変化に気づく機会を増やします。また、気づきの観点も準備しておきます。

視点A：観察者による視点
① 学級担任が気づく。
② 教科担任が気づく。
③ クラブ顧問が気づく。
④ 保護者が気づく。
⑤ 地域の方々が気づく。

視点B：活動場所による視点
① HR 活動で気づく。
② 授業で気づく。
③ 課外活動で気づく。
④ 家庭で気づく。
⑤ 地域社会で気づく。

2. MBO「C³（シー・キューブ）」

○ 基本概念

3つの C の相乗効果で、他者貢献の心・自立（自律）した行動を育むシステム

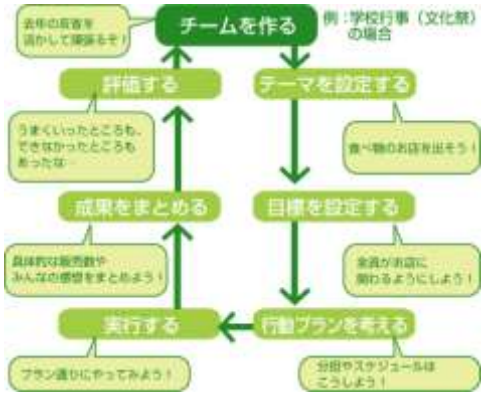
① 生徒主導で作り上げるクラス・学校行事で自律・自立心を育みます。
② チームで協力することで、生徒同士の他者貢献の心を育みます。
③ 複数の先生が参加することで、さまざまな考え方のコーチングが可能になります。

C³（シー・キューブ）

① Child-centered-event
② Collaboration among the teams
③ Coaching to motivate everyone

※コーチング：目標実現に向けた自律的な行動を促す支援及びコミュニケーション

MBO とはドラッガーのマネジメントの概念であり、「目標による管理」の意味です。企業が成果をあげるために導入しているシステムです。学校教育におけるMBOは全国的にも成功例が多く、本校では．桐大中版MBO「C³（シー・キューブ）」に発展させ運営していきます。



○ システムの概要

具体的方法 （状況に応じて方法を工夫）

《C³ の流れ》

① クラスの中でチーム（4～5人）を作る。
② 個々にチームでよいクラス・よい学校を作るために自分たちでできること（テーマ）を考える。
③ 具体的な目標と自分たちの行動プランについて考える。
④ チームとしての成果について自分たちでまとめる。
⑤ 個々の生徒がチームに対して貢献できるように先生たちが支援（コーチング）する。
⑥ チームとしての取り組みをまとめて発表する。
⑦ 生徒同士お互いにチームとしての取り組みを評価する。

※現在は、月毎にグループ編成を行い、昼食班と連動させ、クラス目標もテーマに C³ の流れを実施しています。
※各教科において、PBL（課題解決学習）の中で、C³ の取り組みを生かして学校全体で発展的に取り組んでいます。

C³ を活かすテーマ

・スポーツ大会を成功させるために
・お互いを知る～他己紹介
・文化祭を成功させるために
・いじめを防止ためには
・研修旅行を成功させるために

3. 道徳教育

本校の教育理念は「実学実践」であります。『知（自ら知り）、考（自ら考え）、行（自ら行い）、確（自ら確かめる）』を行動指針とし、『こころの教育』をもとに、探究心、自立心、自主性、創造性の育成を目的とした教育理念です。基礎基本を大切にした体験的、実学的、主体的学習を重視した実践的な教育を目指します。

従って、道徳教育においても教育理念に基づき、体験的・実学的・主体的な道徳教育を実践します。道徳の授業は『為すことによって学ぶ』ための「中核」と位置づけ、ベテラン教職員による20分講話を中心に、MBO『C³（シー＝キューブ）』の概念を活かしたチーム学習により進めます。

また、道徳的実践の場を設定して、豊かな体験による道徳教育を目指します。学校・家庭・地域社会との連携によって、多くの体験ができるように、さまざまな仕掛けを用意します。

○ 教育理念

「 実 学 実 践 」

- 『知（自ら知り）、考（自ら考え）、行（自ら行い）、確（自ら確かめる）』を行動指針。
- 『こころの教育』をもとに、探究心、自立心、自主性、創造性の育成。
- 基礎基本を大切にした体験的、実学的、主体的学習を重視した実践的な教育。

○ 道徳教育の重点目標

- 自律・自立を高める。
- 他者貢献の心を育む。
- チャレンジ心（やる気）を育む。

○ 道徳授業の考え方

体験的・実学的・主体的な道徳授業

- 教科書からテーマを厳選して行う。
- 自分の考えをまとめて、チームで話し合い発表することで「話す」力につなげる。
- 道徳授業が日常生活の中で活かせたかどうかを省察できるようにする。

構成的グループエンカウンターによる道徳授業

- 構成的グループエンカウンターの手法を取り入れ、体験的・実学的な活動とする。
  「ホンネとホンネの感情交流ができるようなエクササイズを実施、シェアリングをすることで、自己理解、自己受容、他者理解、自己主張ができる学級集団をつくる。」

○ 道徳的実践（さまざまな仕掛け）

各教科
（授業のなかで実践）

各教科の目標達成に努める中で、道徳的実践力の指導に留意する。体験的学習や問題解決的学習を道徳的実践の場として意識して取り入れる。

総合的学習の時間
（体験型進路学習と連携）

クエストエデュケーションプログラムなどの体験型教育プログラムのなかで、他者貢献の心やチャレンジ心を育む。

日常生活
（学校・家庭・地域と連携）

挨拶の励行、身だしなみ、規範意識など道徳的実践ができているかどうか自分やチームでチェックできる仕掛けを用意する。

学校行事・特別活動
（学校行事MBO『C³（シー・キューブ）』を活用

他者貢献の心と自律心を育む、学校行事MBO『C³（シー・キューブ）』を活用して、チーム目標の中に道徳的目標を入れ込み、実践していく。

進　路　学　習

1. ドリカムプラン『K-JET』（総合学習）

○ 基本概念

教育理念である『実学実践』を実現するための、
「為すことによって学ぶ」進路学習プログラム

桐大中版ドリカムプラン『K-JET』

KIRYU JUNIOR HIGH SCHOOL
JUMP OUT OF CLASS　授業から飛び出し
EXTEND YOUR WORLD　自分の世界を広げ
TIE IN YOUR FUTURE　未来へとつなげよう！

次のようなコンセプトを設定して、生徒の自立・自律を高めながら、自分の未来（進路）につなげます。

Ａ 安心できる仲間と一緒に様々な体験をする。
Ｂ 様々な人の経験や考えに接する。
Ｃ 自分たちで考えてやってみて、たくさんの失敗体験と成功体験を得る。
Ｄ 体験を通じての学びと学校での学習につなげる。
Ｅ 前向きに学校生活に臨むやる気と勇気を生む。

なぜ進路学習プログラムが必要なのか？

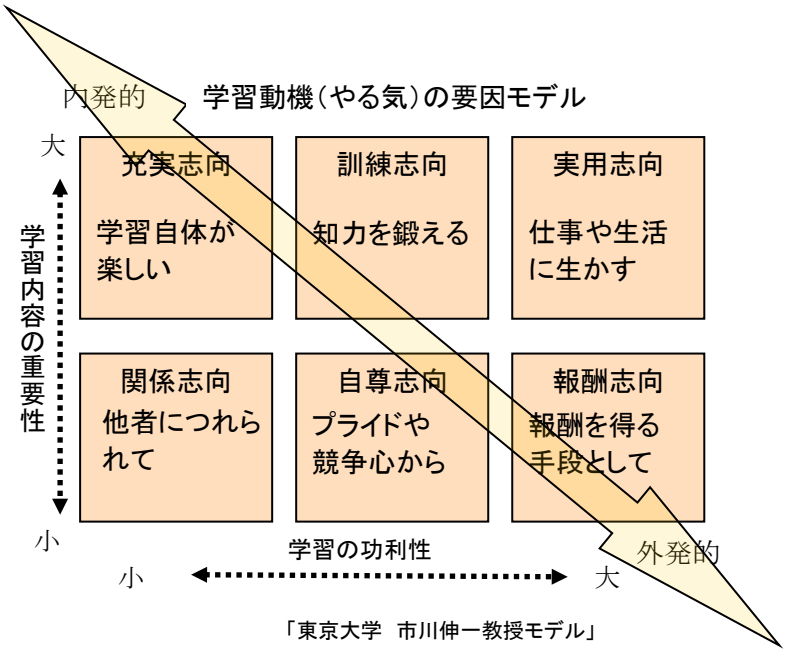
次のような「やる気」を子どもたちが持てるように、さまざまな仕掛けが必要となります。

① 子どもが高い目標に挑戦しようと思う。
② 子どもが自分の可能性を広げようと思う。

どうすれば子どもは「やる気」を持つのか？

◎子どもの内面から生じるやる気
授業の内容が面白い。
自分が成長している実感がある。
今勉強していることが将来役に立ちそう。
→将来の目標と今学習していることをつなげる。

◎関係（家族、友達、先生）から生じるやる気
周りから努力や達成したことを認められる。
友だちが頑張っている、励ましてくれる。
→一緒に頑張れる関係がある。



どんな進路プログラムであればよいか？

「為すことによって学ぶ」（デューイ）の教育理論を根拠にプログラムを考えました。

体験したことから学ぶためには何が必要か？

① 他者との対話を通じた気づきが必要。
② 自分との対話（省察）を通じた学びが必要。

〇現在、実施している体験による課題解決型進路学習プログラム

中1

★クエストエデュケーションプログラム　～ソーシャルチェンジ～

生徒が自ら社会課題を見つけてその解決に取り組むプログラムである。困っている人の問題を自分事として捉え、チームで企画を考え、プレゼンテーションをする。この取り組みを通して人の心を動かし、社会を変える第一歩を体験する。

1. 最初の話し合いとプレゼンテーション
   先生が与える課題について話し合い、アイデアを出し、プレゼンテーションをする。
2. 社会の困りごとについて考えていく。
   アイデアを出し合い、解決策を提案する。
3. プレゼンテーション
   ブラッシュアップを重ね、最高を目指す過程を経てプレゼンテーションをする。
4. 全国大会
   ポスターセッション方式による全国大会に出場する。

中2　中3

★クエストエデュケーションプログラム　～コーポレートアクセスコース～

1. 活動の準備
   会社とは何かの学びから始まる。仕事についての意識、会社の使命を学んだ後に、どの企業のミッションに挑戦するかを生徒の希望をもとにクラス内で決定する。
2. 会社の仕事を理解
   ミッションへ取りかかる前に、まずは企業の事業について理解を深める。企業文化や事業内容の理解に加え、街の人々へのアンケート調査によって、企業活動についてさらに理解を深めていく。調査をし、それをまとめる経験もビジネス活動を学ぶステップである。
3. ミッションの実施
   企業からのミッションが発表される。各チームは担当企業から課題を受け取り、およそ半年にわたって検討を続ける。企画会議でのブレインストーミングに始まり、アイデアの絞り込み、中間報告と検討が進む。そのステップの中で、企業担当者や教員から厳しい指摘を受ける。
4. プレゼンテーション
   検討した課題はクラスのプレゼン大会で発表される。アイデアを伝えるためのパワーポイントや劇。プレゼンテーションの様子はビデオに撮影され企業の担当者に送付される。
5. 全国大会
   優秀チームに選抜されると全国大会で発表することができる。

学　校　生　活

1. 学校行事

学校行事を「自立、自律性を高める教育機会」「精神的なタフネスさを高める教育機会」だととらえています。よって、学校行事は生徒が主体になって作り上げるものとなります。生徒がチームを作り、各チームで役割分担し、行事そのものを作っていきます。そのプロセスで、主体的な活動の面白さを実感し、仲間と力を出し合いながら、困難な局面も乗り越えてゆくことで感動を味わい、それらを通してタフネスさ、チームワーク、リーダーシップなどを修得していきます。さらに、生徒の将来について考える機会になる行事も取り入れ、モチベーションの高揚も図っていきます。

○　主な学校行事

月	1年	2年	3年
4月	入学式　スプリングキャンプ		
	実力テストⅠ	実力テストⅠ	実力テストⅠ
5月	中間テスト	中間テスト	中間テスト
	第1回英語検定	第1回英語検定	第1回英語検定
6月			研修旅行
7月	期末テスト　漢字検定、数学検	期末テスト　漢字検定、数学検	期末テスト　漢字検定、数学検
	定、世界遺産検定	定、世界遺産検定	定、世界遺産検定
	スポーツ大会	スポーツ大会	スポーツ大会
8月	実力テストⅡ	実力テストⅡ	実力テストⅡ
9月	進研学力推移テスト	進研学力推移テスト	進研学力推移テスト
10 月	中間テスト	中間テスト	中間テスト
	若桐祭（箏発表会）	若桐祭（箏・能発表会）	若桐祭（能発表会）
	第2回英語検定	第2回英語検定	プレエンパワーメントプログラム
	漢字検定、数学検定、	漢字検定、数学検定、	第2回英語検定
	校内合唱コンクール	校内合唱コンクール	漢字検定、数学検定、
			校内合唱コンクール
11 月	期末テスト	期末テスト	期末テスト
12 月	校内クエストカップ	校内クエストカップ	校内クエストカップ
1月	実力テストⅢ	実力テストⅢ	実力判定テスト
	進研学力推移テスト	進研学力推移テスト	百人一首大会
	百人一首大会	百人一首大会	
2月	漢字検定	漢字検定	漢字検定
	第3回英語検定	第3回英語検定	第3回英語検定
	学年末テスト	学年末テスト	学年末テスト
3月	英語スピーチコンテスト	英語スピーチコンテスト	英語スピーチコンテスト
	数学検定	数学検定	数学検定
			卒業（修了）式

※　※　実施時期は調整する予定です。
※　長期休業中は春季講座、夏季講座、冬季講座を予定しています。

※弁論大会を実施予定。　※英単語コンテストを実施予定。　※計算力コンテストを各学期に実施予定。

〇学校行事の様子（過去の学校行事より）

★国内研修旅行

★中高合同スポーツ大会

★イングリッシュキャンプ

★プレエンパワーメントプログラム

★調理実習　パン実習

★オリンピック・パラリンピックフラッグツアー

★芸術鑑賞会

★囲碁体験教室

★クエストカップ全国大会

★箏・能発表会

★百人一首大会

★卒業式

○ 国際交流プログラム

国際社会に生きる日本人として、豊かな人間性と教養と語学力を身につけた生徒を育成します。そのためには国際交流プログラムを積極的に組み、さまざまな体験ができるシステムをつくります。‘世界を見渡せる 360° の視野をみにつける’ことを目標にしています。

ただ海外の文化に触れるのではなく、桐生・群馬そして日本の伝統的な文化を体験し自国の文化を理解することで異文化を理解し尊重するこころの育成に取り組んでいます。

1. 校内コンテスト

☆英単語コンテスト

中1～高2 の5年間継続実施する。

前期英単語コンテスト中1～中3

後期英単語コンテスト高1～高2

☆英語スピーチコンテスト

中1～中3 で実施する。

学年ごとにテーマを決めて実施する。

2. 校外コンテスト

☆英語弁論大会

中学代表者:桐生市英語弁論大会に出場する。

☆英語スピーチコンテスト

高校代表者:明石杯英語スピーチコンテスト

その他のコンテスト

3. 外部資格試験

☆英検

中学:準2級取得を努力目標とする。

高校:準1級取得を努力目標とする。

☆TOEIC、TOEFL

高2～高3 希望者が受験する。

大学入試に活用する。

☆TEAP

高3の受験期に希望者が受験する。

大学入試に活用する。

4. 国際交流プログラム

☆プレエンパワーメントプログラム

中3 有名大学の留学生とディスカッション

留学生は各家庭でホームステイ

☆研修旅行

中学:イタリア研修旅行(令和5年度より)

☆海外英語力向上プログラム

長期休業中などに各種短期留学に参加(希望者)。

令和3年度予定 ドイツオンライン交流プログラム

令和2年度実施 フィリピンオンライン交流プログラム

令和元年度実施 イギリス短期留学プログラム

☆中期留学プログラム

中3希望者 ニュージーランドなど 3学期実施。

☆台湾 高校生などとの交流

積極的に海外学生の訪問などを受け入れています。

2. クラブ活動

〇特別進学コース

特別進学コースのクラブ活動は、基本的に週に2回の活動とします。自主的な活動と位置づけ、生徒主導による活動を推進します。各種コンクールなどへの参加・応募など制限をすることはしません。また、地元のクラブチーム、お稽古事なども、学校の部活動と同じと位置づけて応援をしていきます。

さらに、高校生とともに活動するクラブを推進して、先輩とのつながりを深め、自立・自律を高め、他者貢献の心を育成していきます。

陸上部は中体連に所属して活動する部活動です。週に4回の練習を実施しています。

クラブ活動名
バスケットボール
バドミントン
陸上
英語
音楽
卓球
ロボコン
メディア
科学
美術
民芸
箏

〇進学スポーツコース（サッカー部）

理念

文武両道を目指し、活動します。その中で全国優勝を目指し、高校につなげ、将来プレーヤーとしても人間としても世界に通じる人間の育成を考えています。

練習＆試合（予定）

週2回はバス送迎で桐生大学人工芝グラウンドへ行きトレーニングを行います。

週2回は本校で体幹トレーニングを中心に練習を行います。

月曜日はミーティングかオフ

週末は公式戦（中体連＆クラブチーム）及び練習試合を行います。

遠征を年に数回行います。

教 育 成 果 目 標

1. 学習成果

○ 全国模試などによる偏差値が英・数・国の3教科において5．0以上上昇している。（1年最初と3年最後を比較）
○ 中学1年で英語の絵本の朗読ができる。
○ 中学2年の冬までに英検3級以上70%、中学3年の冬までに準2級50%を取得。
○ 中学3年の校内英語スピーチコンテストで全ての生徒が3分スピーチできる。
○ 中学3年までに英単語1600を修得する。
○ 論文やレポートが、各段階・各場面において適切に書くことができる。
○ プレゼンテーションが各段階・各場面において適切に行うことができる。

2. 全国学力・学習状況調査による成果

○ 自律とモチベーション
「難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している。」70%（全国 65.9%）
「自分にはよいところがあると思う。」80%（全国 76.2%）
○ キャリアビジョンと行動自律の習慣化
「将来の夢や目標を持っている。」70%（全国 68.6%）
「自分で計画を立てて勉強している。」70%（全国 63.4%）
○ チームワークができる力をもっている
「人が困っているときは進んで助けている。」90%（全国 88.4%）
「人の役に立つ人間になりたいと思う。」100%（全国 95.0%）

教育評価の観点　※年度に2回の学校評価アンケートを実施し検証しています。

項　目	観　点
先生と先生	先生たちが仲間意識をもっている。教科間で連携が行われている。 先生がオリジナル教材に挑戦している。
先生と生徒	先生が生徒の良い点に気づいている。 先生が率先してコミュニケーション（挨拶）をしている。 進路指導が上手に行われている。 基礎学力が身に付いていると生徒が感じている。 授業が楽しいと生徒が感じている。
生徒と生徒	仲間を大切にしている。 お互いに高めあっている。 生徒が自主的に学習活動を行っている。
生徒と保護者	子どもと親が日常的にコミュニケーションしている。 保護者が学校行事に協力している。 食事がともにしっかりとれている。
学校と家庭	学校が定期的に情報を発信している。例）行事予定・各種便りなどを発行している。 保護者会・三者面談・家庭訪問が計画的に行われている。 家庭での学習状況が分かっている。
学校と地域	地域と協力する学校行事が行われている。 地域社会の人たちと情報交換が行われている。
学校と学園	特進高校生との関係が上手くいっている。 学園の教育資源が上手く活用されている。 感動的な体験学習が行われている。

入　試　関　係

2023 年度（令和 5 年度）入学試験概要

1　募集定員

30 名

次の 2 コースを募集します。2 コース合わせて 30 名の募集となります。

特別進学コース

進学スポーツコース

2　コース概要

コース	概　要
特別進学コース	幅広い知識と教養を身につけ、国公立大学・早慶などの難関私立大学合格を目指すコース。
進学スポーツコース	運動部での活躍とともに、国公立大学・有名私立大学合格を目指すコース。

3　入試区分と日程

入試区分	日　　程
スポーツ入試	2022 年 10 月 8 日（土） ※進学スポーツコースのみの受験となります。
推薦入試	1 期　2022 年 11 月　5 日（土） 2 期　2022 年 12 月 17 日（土） ※推薦入試は一度しか受験できません。 ※学力検査入試との同時受験はできません。
一般入試	1 期　2022 年 11 月　5 日（土） 2 期　2022 年 12 月 17 日（土） 3 期　2023 年　2 月　4 日（土） ※推薦入試との同時受験はできません。

4　受験料

15,000 円（スポーツ入試・推薦入試・学力検査入試・2次募集）

※一旦納入した受験料は、理由の如何を問わず返還しません。

各種入学試験について

5 スポーツ入試

募集コース	**進学スポーツコース**
出願期間	2022 年　9 月 20 日(火)～ 10 月 3 日(月)　9:00～16:00　※土日祝日除く
試験期日	2022 年 10 月　8 日(土)
試験会場	桐生大学附属中学校
合格発表	2022 年 10 月 13 日(木)　　※インターネット上で行います。
出願資格	2023 年 3 月に小学校卒業見込みの者で、かつ次の(1)～(2)の条件に該当する者 (1)スポーツ(サッカー)で優れた能力を持ち、市･郡レベル以上の大会等で活躍した者 (2)本校のサッカー練習会･体験会に参加した者 ※いずれの場合も学力の条件はあります。
単併区分	進学スポーツコース　単願者
試験方法	☆面接(個人)　本人(口頭試問含む)および保護者 ☆書類選考 ☆実技試験(サッカー)
試験時間	受付開始時間　16:00～ 集合時間　16:30 諸注意　16:30～ 16:45 児童面接　17:00～ 保護者面接　17:00～ 実技試験　面接終了後、実施。
出願書類	(1)受験票･受験票(控)【当日持参】 (2)面接調査票･･･本校所定の用紙 【持参もしくは郵送】 (3)通知票の写し(第 5, 6 学年次の表･裏すべて)【持参もしくは郵送】 ※インターネット出願サイトで手続き後、10 月 3 日(月)16:00 までに持参もしくは郵送必着
その他	☆進学スポーツコースの募集競技は、サッカーのみです。

6 推薦入試

募集コース	**特別進学コース･進学スポーツコース**
出願期間	1 期:2022 年 10 月 19 日(水)～ 10 月 31 日(月) 9:00～16:00 ※土日祝日除く 2 期:2022 年 11 月 29 日(火)～ 12 月 12 日(月) 9:00～16:00 ※土日祝日除く ※ただし、12 月 6 日(火)は創立記念日のため持参の場合受付できません。
試験期日	1 期:2022 年 11 月 5 日(土) 2 期:2022 年 12 月 17 日(土)
試験会場	桐生大学附属中学校
合格発表	1 期:2022 年 11 月 10 日(木) 2 期:2022 年 12 月 22 日(木) ※インターネット上で行います。
出願資格	2023 年 3 月に小学校卒業見込みの者で、かつ次の(1)～(4)の条件のいずれかに該当する者 (1)学級活動･児童会活動･クラブ活動･学校行事の推進に顕著な役割を果たした者 (2)地域活動(子供会･ボーイスカウト･スポーツ少年団等)で顕著な功績があった者 (3)学術･芸術･スポーツ等で優れた能力を持ち、市･郡レベル以上の大会等で活躍した者 (4)英検 3 級以上を取得している者 ※いずれの場合も学力の条件はあります。
単併区分	特別進学コース 単願者　　進学スポーツコース 単願者
試験方法	☆作文 ☆面接(個人) 本人および保護者 ☆書類選考 ☆実技試験(サッカー) ＊進学スポーツコース受験者のみ実施します。
試験時間	1 期 受付開始時間 13:00～ 集合時間 13:30 諸注意 13:30～13:45 作文 14:00～14:40 保護者面接 14:00～ 児童面接 15:00～ 2 期 受付開始時間 9:00～ 集合時間 9:30 諸注意 9:30～ 9:45 作文 10:00～10:40 保護者面接 10:00～ 児童面接 1100～ 実技試験 児童面接終了後実施 ＊進学スポーツコース受験者のみ
出願書類	(1)受験票･受験票(控)【当日持参】 (2)推薦書･･･下記①、②のいずれかの推薦書(すべて本校所定の用紙)【持参もしくは郵送】 ①出身小学校長が作成した推薦書 ②スポーツ団体の責任者が作成した推薦書 ＊進学スポーツコースに出願する者のみ (3)面接調査票･･･本校所定の用紙 【持参もしくは郵送】 (4)通知票の写し(第 5, 6 学年次の表･裏すべて)【持参もしくは郵送】 ※インターネット出願サイトで手続き後、1 期は 10 月 31 日(月)、2 期は 12 月 12 日(月) いずれも 16:00 までに持参もしくは郵送必着
その他	☆進学スポーツコースの募集競技は、サッカーのみです。 ☆1 期推薦入試が不合格の場合は、2 期推薦入試は再受験できません。

7 一般入試

募集コース	**特別進学コース･進学スポーツコース**
出願期間	1 期:2022 年 10 月 19 日(水)～10 月 31 日(月) 9:00～16:00 ※土日祝日除く 2 期:2022 年 11 月 29 日(火)～12 月 12 日(月) 9:00～16:00 ※土日祝日除く 3 期:2023 年 1 月 17 日(火)～ 2 月 3 日(金) 9:00～16:00 ※土日祝日除く ただし、12 月 6 日(火)は創立記念日のため持参の場合受付できません。
試験期日	1 期:2022 年 11 月 5 日(土) 2 期:2022 年 12 月 17 日(土) 3 期:2023 年 2 月 4 日(土)
試験会場	桐生大学附属中学校
合格発表	1 期:2022 年 11 月 10 日(木) 2 期:2022 年 12 月 22 日(木) 3 期:2023 年 2 月 9 日(木) ※インターネット上で行います。
出願資格	2023 年 3 月に小学校卒業見込みの者
単併区分	特別進学コース･進学スポーツコース 単願者または併願者
試験方法	☆1 期・2 期(記述試験) 国語、算数 ※国語の代わりに英語でも受験ができます。 ☆3 期(口頭試問)本人の面接試験中に行います。 ☆面接 1 期･2 期は本人のみ。3 期は本人及び保護者の面接を行います。 ☆書類選考 ☆実技試験(サッカー) ＊進学スポーツコース受験者のみ実施します。
試験時間	1 期 2 期 受付開始時間 8:00～ 集合時間 8:30 諸注意 8:30～ 8:45 1時間目(国語) 9:00～ 9:45 2時間目(算数) 10:00～10:45 児童面接 11:00～ 3 期 受付開始時間 8:00～ 集合時間 8:30 諸注意 8:30～ 8:45 児童面接 9:00～ 保護者面接 9:00～ 実技試験 児童面接終了後実施 ＊進学スポーツコース受験者のみ
出願書類	(1)受験票･受験票(控)【当日持参】 (2)通知票の写し(第 6 学年次の表･裏すべて)【持参もしくは郵送】 (3)面接調査票･･･本校所定の用紙【持参もしくは郵送】 ※インターネット出願サイトで手続き後、1 期は 10 月 31 日(月)、2 期は 12 月 12 日(月)、3 期は 2 月 3 日(金)いずれも 16:00 までに持参もしくは郵送必着
その他	☆単願者は加点など優遇措置があります。 ☆進学スポーツコースの募集競技は、サッカーのみです。 ☆同日(1 期･2 期)に行われる推薦入試との重複受験はできません。

8 出願手続

（1）出願について　※インターネット出願の流れは p11～14 を参照してください。

出願期間内にインターネット出願サイトへアクセスして、出願手続きをしてください。検定料の支払い、受験票・受験票（控）の印刷など完了させ、出願期間内に下記の出願書類を本校事務室に提出（持参又は郵送）してください。なお、受理した書類および入学検定料は、いっさい返還しません。

・持参の場合・・・出願期間中の9時から 16 時まで（土・日・祝日を除く）です。

・郵送の場合・・・出願期間の最終日必着です。「簡易書留」で郵送してください。

（2）出願書類

①受験票・受験票（控）・・・当日持参してください。

・本人写真（タテ4cm×ヨコ3cm カラー 3か月以内に撮影したもの）をのりで貼ってください。

※インターネット出願サイトから顔写真データをアップロードすることも可能です。

②通知表の写し

・スポーツ入試・推薦入試の場合・・・第5、6学年次の表・裏すべてを提出してください。

・学力検査入試の場合・・・第6学年次の表・裏すべてを提出してください。

③面接調査票

・保護者が黒のボールペンで記入してください。

・①～⑩の質問には、家庭で相談され、わかる範囲で記入してください。

・まだ決めていない場合や、項目が該当しないときは、「未定」や「なし」と記入してください。

④推薦書　＊推薦入試に出願する場合のみ

・出身小学校長用推薦書を使用する場合・・・小学校の先生に作成してもらってください。

・スポーツ団体の責任者用推薦書を使用する場合・・・進学スポーツコースに出願する者のみです。

⑤推薦条件を証明する書類のコピー（任意）　＊推薦入試に出願する場合のみ

・学校の活動や地域の活動での功績がわかる資料など

・各種大会やコンクールでの入賞実績などがわかる資料など

・英検取得を証明する資料など

9 受験上の注意

（1）持参するもの・・・受験票・受験票（控）、鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、上履き，三角定規、コンパス

＊進学スポーツコース志望者・・・運動着、運動靴

＊分度器、計算機、翻訳機能付き時計、下敷き、携帯電話は使用できません。

（2）当日の予定・・・入試科目、当日の時間割などは前記の通りです。

（3）保護者面接・・・両親での面接が望ましいですが、お一人でも問題はありません。

（4）受験会場・・・桐生大学附属中学校（桐生市小曽根町9番 17 号）

＊上電西桐生駅より徒歩1分、JR 桐生駅より徒歩5分です。

＊駐車場はアクセスマップで確認してください。

＊実技試験（進学スポーツコース）は、サッカーグラウンドに移動して実施します。

10 合否発表の方法

インターネット上で発表します。なお、合否に関する個別の問い合わせには応じられません。

11 入学手続

(1)入学手続日

＊1次手続と2次手続があります。

＊1次手続期限までに、入学金･施設設備費･その他の経費を本校所定の用紙にて、指定金融機関へ払い込んでください。

☆1次手続(入学金･施設設備費･その他の経費の払込のみ)

スポーツ入試合格者	2022 年 10 月 27 日(木)まで
推薦入試 1 期並びに一般入試 2 期単願合格者	2022 年 11 月 25 日(金)まで
推薦入試 2 期並びに一般入試 2 期単願合格者	2023 年 1 月 6 日(金)まで
一般入試 1 期、2 期併願合格者	2023 年 2 月 3 日(金)まで
一般入試 3 期合格者	2023 年 2 月 17 日(金)まで

☆2次手続(学用品注文など諸手続)

入学予定者全員 2023 年 2 月 18 日(土)

(2)留意事項

＊ 合格通知と入学手続の書類は個人宛に送付します。

＊ 合格者は所定の期日に入学手続を完了してください。所定の期日に手続が完了されない場合は、合格取り消しとなります。

＊ 一度納入した経費(入学金等)などは、いかなる理由があっても返還しません。

学費・奨学金・特別奨学生・各種優遇制度ほか

12 経　　費 【2023 年度予定】

入学時の学納金等	
入　学　金	120, 000円
施 設 設 備 費	130, 000円
後　援　会　費	50, 000円
同　窓　会　費	20, 000円
計	320, 000円

●社会状況の変化に伴い、入学金･授業料等は変更する場合があります。

月々の経費	
授　業　料	16, 000円
施設設備拡充費	4, 000円
教　育　充　実　費	10, 000円
諸　会　費	7, 200円
計	37, 200円

※他に昼食費･研修旅行費などが月々の経費としてかかります。
※私立中学校に在学している生徒の授業料を軽減する制度があります。

13 特別奨学生制度 【2023 年度予定】

各種入学試験において、各試験結果･通知表･面接等を総合し、本校基準に応じ合格種別を決定します。

合格種別	奨学金(給付額)	給付金合計額
特別S奨学生	入学手続金　●入学金 120,000 円　全額　●施設設備費　130,000 円　全額 月々の経費　●授業料　16,000 円　全額　●施設設備拡充費　4,000 円　全額	490,000 円
特別A奨学生	入学手続金　●入学金 120,000 円　全額　●施設設備費　130,000 円のうち 80,000 円 月々の経費　●授業料　16,000 円のうち、11,000 円	332,000 円
特別B奨学生	入学手続金　●入学金 120,000 円　全額 月々の経費　●授業料　16,000 円のうち、6,000 円	192,000 円
特別C奨学生	入学手続金　●入学金 120,000 円　全額	120,000 円

●特別奨学生の有効期間は 1 年間です。毎年、更新のための審査があります。
●社会状況の変化に伴い変更する場合があります。

14 減免制度 【2023 年度予定】

●同窓生等入学金減免制度

本人または保護者が桐丘学園の同窓生である場合、入学金の半額を免除する制度があります。

●兄弟姉妹授業料等減免制度

同一年度、中学内に兄弟姉妹が在籍している場合、兄姉の父母の会費を免除する制度があります。

●高校内部進学者に対する入学金減免制度

桐生第一高等学校に内部進学した場合、高校入学時の入学金を免除する制度があります。

（注意）

＊いずれも入学後にご案内するものとなります。入学手続時に申し込むことはできません。
詳しくはお問い合わせください。

よくある質問Q＆A

15 入学試験について

Q 募集要項などの入手方法を教えてください

A 本校ホームページから請求ができます。
また、本校入試課にお問い合わせいただくか、直接来校いただければお渡しできます。
※入学願書は無料です。

Q 出願期間と出願書類提出場所を教えてください

A 出願期間：募集要項に記載されている期間内に、郵送か持参で提出してください。郵送の場合は期間内に必着ですのでご注意ください。
願書提出先：本校入試課に提出してください。

Q スポーツ入試の受験資格はどのような資格が必要ですか

A 進学スポーツコースのみの入試です。スポーツ（サッカー）に優れた能力を持ち且つ、サッカー練習会に参加していることが条件となります。

Q スポーツ入試の入試内容と合格するポイントを教えてください。

A 保護者様の面接と受験生（児童）の面接を別々に行います。面接後、実技試験を行います。合格するポイントは、小学校5，6年生の通知表を含めた総合判定となりますが、実技試験が重要になります。

Q 推薦入試を受験するのには誰の推薦が必要ですか

A 小学校長の推薦書（進学スポーツコースの場合は所属するスポーツ団体の責任者の推薦書でもよい）が必要です。本校指定の推薦書に記載していただきます。

Q 推薦入試で合格するポイントは何ですか

A 小学校５，６年生の通知表・作文・面接の総合判定となります。
※進学スポーツコースの場合は実技試験も見ます。

Q 推薦入試は2回ありますが、2回受験できますか

A 推薦入試は一度しか受験できません。推薦の１期を受験して不合格の場合は、推薦の２期を受験することはできません。

Q 推薦入試と同日に行われる一般入試を重複受験できますか

A 重複受験はできません。

Q 推薦入試１期や一般入試１期で合格した場合、推薦２期または一般２期入試を受験することはできますか

A 推薦１期か一般１期入試で合格した場合、推薦２期および一般２期入試を受験することはできません。

Q スポーツ入試と推薦入試、一般入試の違いは何ですか

A スポーツ入試と推薦入試は単願者のみです。他校との併願受験はできません。一般入試は単願でも併願でも受験ができます。

16 試験方法について

Q 推薦入試の面接はどのように行われますか

A 保護者様の面接と受験生（児童）の面接が別に行われます。保護者様の面接は両親が望ましいのですが、おひとり様でも問題はありません。

Q 推薦入試の作文はどのような形式ですか

A ４００字～６００字程度の作文とします。

Q 一般入試の面接はどのように行われますか

A 受験生（児童）のみの面接となります。保護者の面接はありません。保護者が受験会場にいなくても大丈夫です。

Q 一般入試の試験内容を教えてください

A 国語と算数の２教科の試験。各教科配点は100点・試験時間は45分です。国語の代わりに英語で受験することも可能です。英語は英検3級程度の問題です。

Q 進学スポーツコースの実技試験はどんなものですか

A ドリブル・パス・シュートなどサッカーに関する基礎技術を見ます。

17 合格発表について

Q 合否基準について教えてください

A 筆記試験の結果・面接の結果・通知表を総合的に判断して合否を決定します。

Q 合格発表はどのように実施されますか

A インターネット上で発表します。また、合否通知をご自宅に郵送します。

Q 試験区分ごとに定員はありますか

A 特にありません。

18 入学手続について

Q 手続期間とその締切日を教えてください

A 募集要項に記載されている手続日に手続きをしてください。１次手続きと２次手続きがありますのでご注意ください。

Q 手続期間の延期は可能ですか

A できません。なお期日までに手続きが完了されない場合は、残念ですが合格取り消しとなります。

19 学費や奨学金について

Q 学費の支払い方法について教えてください

A 毎月、指定された日に口座振替をします。

Q 奨学金制度について教えてください

A 筆記試験と面接の結果・通知表を総合的に判断して、成績優秀者に付与します。進学スポーツコース受験者は実技も加味します。特別奨学生の有効期間は1年です。毎年更新のための審査があります。

Q 兄弟姉妹が卒業生です。割引制度はありますか

A 特にありません。
ただし、兄弟姉妹が在校生の場合は、割引制度があります。

Q 親が卒業生です。割引制度はありますか

A 親（保護者）か本人が、桐丘学園の卒業生（同窓生）の場合、割引制度があります。詳しくは、入学後、お問い合わせください。

20 学校生活について

Q 登校時間を教えてください

A ８時30分です。
ただし、登校前に朝自習が行われます。希望制や指名制で朝学習が行われる場合もあります。

Q 給食はありますか

A 完全給食制です。

Q スクールバスはありますか

A あります。

登校時

尾島方面～学校　８時25分本校着
新桐生駅～学校　7時55分、8時25分本校着

下校時

学校～新桐生駅　17時、19時本校発

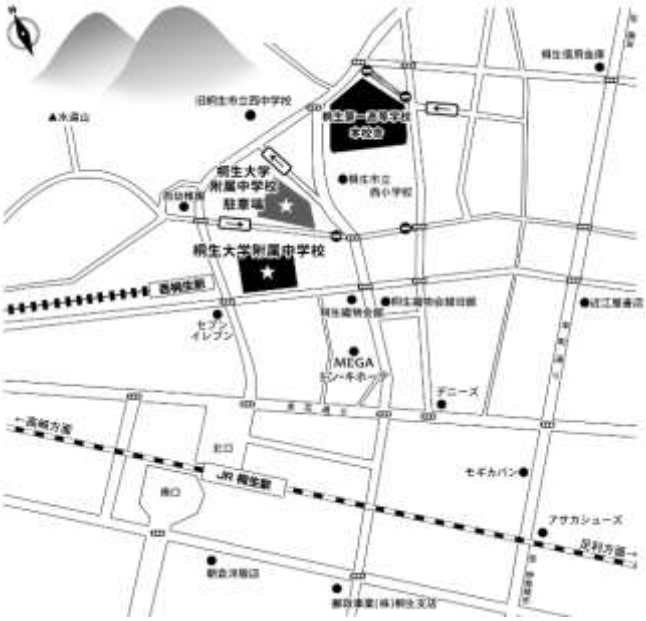
※発着時間は変更する場合があります。

Q 部活動は何がありますか

A 進学スポーツコースは全員がサッカー部です。
特別進学コースは、中体連に所属する運動部として陸上部があります。その他、ロボコン、箏、音楽、科学、英語コミュニケーション、民芸制作、メディア研究、バスケットボール、バドミントンなどのクラブ活動があります。年度によって変更する場合があります。

アクセス

□西桐生駅より徒歩1分
□桐生駅より徒歩5分
□新桐生駅よりスクールバス 15 分



≪インターネット出願手続きの流れ≫

＜インターネット出願利用可能期間＞

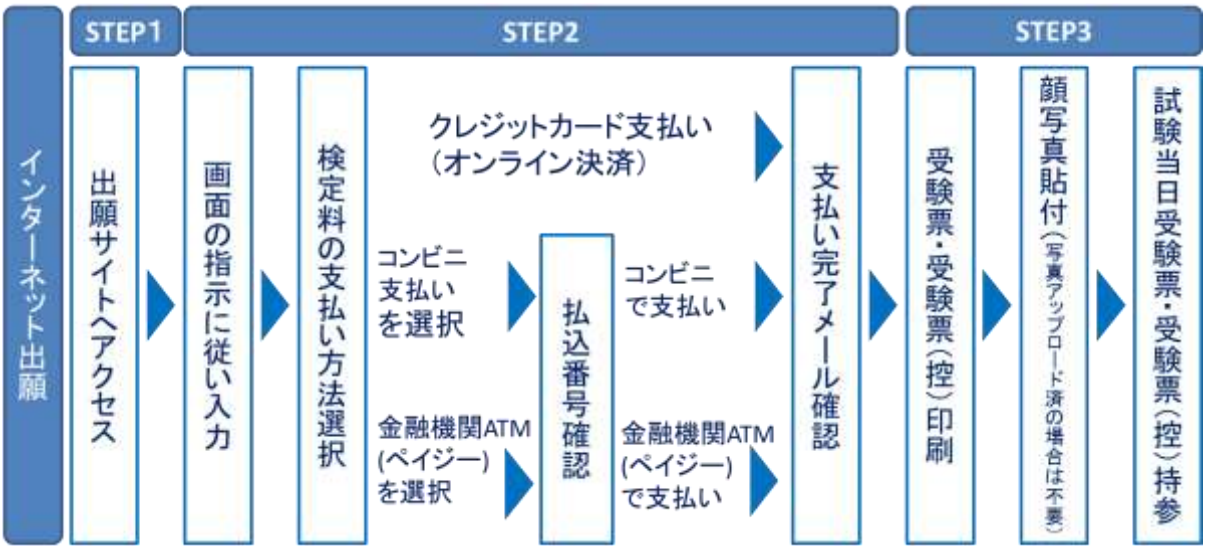
出願サイトへのアクセスは、9月初旬から可能です。ホームページ上でお知らせします。
ただし、受験票・受験票（控）の印刷は、各入試の出願期間初日から印刷が可能となります。

＜インターネット出願を利用する環境について＞

インターネットに接続できる環境（パソコン・スマートフォン（以下、スマホ。）・タブレット端末）及びプリンターをご用意いただける方は、ご自宅等で出願が可能です。

インターネットに接続できる環境をご用意いただくことが難しい方は、本校にご相談ください。本校のパソコン、プリンタをお使いいただくことができます。ただし、パソコンの台数に限りがあるため入力に関しては順番待ちをしていただくことがあります。また、支払い方法をコンビニかペイジー対応金融機関ＡＴＭで選択した場合、本校近くのコンビニ・金融機関の場所はお教えいたしますが、支払い後、受験票・受験票（控）の印刷の時にも再び順番待ちをしていただくこともありますので、あらかじめご了承ください。

＜インターネット出願手続きの全体イメージ＞



※ ご自宅にプリンターがない方は、コンビニのサービス等を利用した印刷機器などで印刷していただくことが可能です。

＜インターネット出願の手順＞

STEP1　出願サイトにアクセス

本校のホームページ（https://jhs.kiryu-u.ac.jp/）の「インターネット出願」の案内をクリックして、出願サイトにアクセスしてください。
出願サイトは、パソコン・スマホ・タブレット端末に対応しています。

STEP2　指示に従って必要事項を入力し、受験料を支払う

1．メールアドレス（mcID）登録（初回のみ）

出願サイトのご利用には、メールアドレスの登録が必要となります。（登録いただいたメールアドレスは、手続き完了メール送信、緊急連絡等にも利用します。）
パソコン・スマホ・タブレット端末のものだけではなく、携帯電話のメールアドレスにも対応しています。スマホ・携帯メールの迷惑メール対策をされている場合は、アドレス@e-shiharai.netの受信を許可してください

【注意事項】

- イベント予約や資料請求で既にメールアドレス（mcID）を登録している場合は、同じメールアドレス（mcID）を使用してください。 また、本校以外のmiraicompassサイトでメールアドレスを共通ID（mcID）としてご登録済みの方は、再度のご登録は不要です。
- 追加出願など複数の入試を出願する場合も、必ず同じメールアドレスでログインしてください。

2. 出願サイトにログインしてください。マイページが表示されます。
顔写真をデータにてアップロードされる場合は、マイページにて登録してください。
受験票を印刷した際に顔写真も一緒に印刷されます。

【注意事項】

- 本校以外のmiraicompassサイトで共通ID（mcID）としてご登録済みの方で、顔写真データをアップロードされている場合は、再度のアップロードは不要です。

3. 出願内容、入試日程等の入力・選択
利用規約、個人情報取り扱いに同意の上、画面の指示に従って、志願者情報・保護者情報を入力し、出願する入試を選択します。

【注意事項】

- 氏名等の漢字で、当サイトに正しく登録できない文字がある場合は、チェックボックスにその旨のチェックを入れ、簡易字体等に置き換えて入力してください。
- 必須項目の入力がすべて済むと一時保存ができます。マイページに戻ると、「申込確認」より、入力した内容の確認印字ができます。

4. 受験料支払方法を選択
「クレジットカード決済」、「コンビニ支払い」、「ペイジー対応金融機関ATM支払い（現金）・（カード・通帳）」、「ペイジー（ネットバンキング）」の4つから、ご希望のお支払方法を選択します。

5. 受験料を支払う
受験料のお支払い方法は、①クレジットカードによるオンライン決済、②コンビニ支払、③ペイジー対応金融機関ＡＴＭ支払、④ペイジー（ネットバンキング）支払いの種類です。それぞれの詳細なお支払い方法は、お支払い方法を選択すると表示されます。

【注意事項】

- 受験料支払方法を確定して申込んだ後は、入力内容の誤りをインターネット上で訂正することはできませんので、十分確認（必要があれば訂正）を行ってください。
- 受験料支払後の試験変更はできません。万が一、個人情報の入力に誤りを発見した場合は、本校までお問い合わせください。

※お支払方法により、事務手数料が異なります。必ずご確認の上、お申込み下さい。
※一旦納入された受験料は、理由の如何を問わず返金できません。

① クレジットカードによるオンライン決済

クレジットカード番号など必要な情報を入力し、決済を完了させます。
クレジットカードによるオンライン決済にて、24時間、受験料の支払いが可能です。
受験料のお支払いが即時に完了するので、コンビニなどへお支払いに行く手間が不要になります。
支払いについては、**志願者の保護者名義のクレジットカードを使用することができます。**
▼ご利用いただけるクレジットカード

② コンビニレジでの支払い

出願登録後、払込番号を控え、選択したコンビニレジにて支払いを済ませてください。支払い後に受け取る「お客様控え」はご自身で保管してください。
以下のコンビニにて、24時間、受験料のお支払いが可能です。

▼ご利用いただけるコンビニ

③ ペイジー対応金融機関ATMでの支払い

ペイジー対応金融機関ATMで支払いができます（ペイジーマークが貼ってあるATMでご利用いただけます）。ただし、金融機関窓口でお支払いいただくことはできません。

【注意事項】

・キャッシュカードをご利用の場合は、ATM設置金融機関のキャッシュカードをご用意ください。（例：ゆうちょ銀行の場合、ゆうちょカードのみご利用いただけます。）現金でのお支払いも可能です。（10万円まで）
・ATM操作途中で操作を取りやめ、異なる金融機関ATMにて再操作するとロックがかかります。ご注意ください。

▼ご利用いただける金融機関ATM

みずほ銀行・りそな銀行・埼玉りそな銀行・三井住友銀行・千葉銀行・ゆうちょ銀行・三菱UFJ銀行・横浜銀行・近畿大阪銀行・広島銀行・福岡銀行・親和銀行・東和銀行・熊本銀行・京葉銀行・南都銀行・足利銀行・七十七銀行

※ペイジー（Pay-easy）操作方法の詳細については http://pay-easy.jp をご覧ください。

④ ペイジー（ネットバンキング）での支払い

ペイジー対応金融機関ネットバンキングの手順・画面に関しては各機関で違いがあります。ネットバン

キングの手順・画面に関するお問い合わせは、各金融機関へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

STEP3 **受験票・受験票(控)を印刷し、顔写真を貼付**

1. 受験料お支払い後、支払い完了メールが届きます。
   出願サイトにアクセスし、ログイン後マイページより、受験票・受験票(控)をご自宅やコンビニ等で印刷してください。(**A4サイズ、普通白紙**)

2. 出願内容を確認し、受験票(控)に志願者の顔写真(最近3ヶ月以内に撮影したもの、縦40mm×横30mm、裏面に受験番号・氏名を書いてから全面にのり付け)を貼付してください。尚、顔写真をアップロードした場合は、受験票とともに印刷されるため、貼付不要です。

   【注意事項】

   ・顔写真データを受験票に印刷した際、印刷画像が不鮮明な場合は、通常の写真を上から貼付してください。

3. 受験票(控)に顔写真が貼付されていることを確認し、受験票と一緒に試験当日お持ちください。 受験票(控)は当日回収します。

   【注意事項】

   ・ 受験票、受験票(控)は、本校から発送しませんので、必ずご自宅やコンビニ等で印刷してください。また、入学手続時に受験票を確認するため、それまで各自で保管してください。

２０２２年度 イベント

2023年度 入試カレンダー

		スポーツ入試	推薦入試		一般入試		
			1期	2期	1期	2期	3期
2022年9月	20日(火)	出願期間					
10月	3日(月)						
	8日(土)	入試日					
	13日(木)	合格発表日					
	19日(水)		出願期間		出願期間		
	27日(木)	1次手続締切					
	31日(月)						
11月							
	5日(土)		入試日		入試日		
	10日(木)		合格発表日		合格発表日		
	25日(金)		1次手続締切日		単願1次手続締切日		
	29日(火)			出願期間		出願期間	
12月							
	12日(月)						
	17日(土)			入試日		入試日	
	22日(木)			合格発表日		合格発表日	
2023年1月	6日(金)			1次手続締切日		単願1次手続締切日	
	17日(火)						出願期間
2月	3日(金)				併願1次手続締切日	併願1次手続締切日	
	4日(土)						入試日
	9日(木)						合格発表日
	17日(金)						1次手続締切日
	18日(土)	2次手続日					

2022年度 イベント

学校説明会
第1回
6月4日（土）
第2回
7月9日（土）

オープンスクール
第1回
6月25日（土）
第2回
8月27日（土）
第3回（ICT授業公開）
9月17日（土）

フレッシュオープンスクール
3月25日（土）

模擬試験
9月3日（土）

入試説明会
9月10日（土）

サッカー練習会
（本校志願者対象）
4月18日（月）
5月16日（月）
6月13日（月）
7月11日（月）
9月12日（月）

学納金　＆　諸費用

1. 中学校3年間にかかる費用

〇中学校

学納金等（2023年度予定）

入学時の学納金等	
入　　学　　金	120，000円
施　設　設　備　費	130，000円
後　　援　　会　　費	50，000円
同　　窓　　会　　費	20，000円
計	320，000円

月々の経費	
授　　業　　料	16，000円
施設設備拡充費	4，000円
教　育　充　実　費	10，000円
父母の会会費	1，000円
後　　援　　会　　費	3，000円
校　　友　　会　　費	3，000円
図　書　教　材　費	200円
計	37，200円

※他に昼食費（6,000 円）と研修旅行費の積立（業者積み立て 9,000 円）が月々の経費としてかかります。

その他諸費用（概算）

〇　指定学用品
　制服一式（基本セット）約 70,000 円
　制鞄　　現在、指定なし
　制靴一式　　約 15,000 円 （運動靴、上履きなど含む）
　運動着一式　約 15,000 円

〇　団体傷害保険　約 10,680 円（3 年分）

〇　定期券代　　電車、バスなど利用者　各自購入

〇　芸術鑑賞会や文化講演会、各種合宿などを計画した場合はその都度徴収（あるいは口座引き落とし）となります。
　また、個別の教材費や模擬試験・英検・数検などの検定試験にかかる費用は別途徴収の予定です。

＊進学スポーツコース

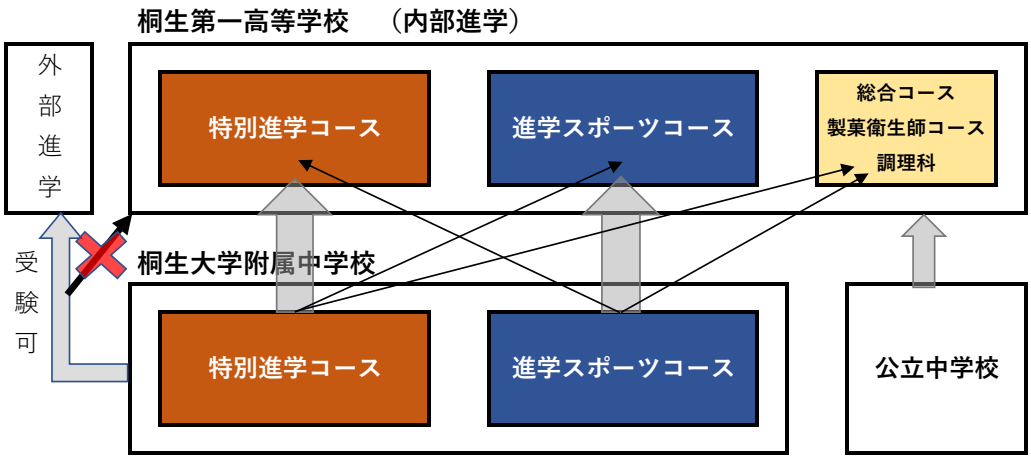
〇　年に数回の遠征・合宿などにともなう宿泊費がかかります。

〇　ユニフォーム代などがかかります。

〇　遠征のためのバス費用、グラウンド使用料、大会参加費は学校負担となります。

高校とのつながり

① 桐生大学附属中学校は特別進学コースと進学スポーツコースの2コース制とします。
② 中学特別進学コースの生徒は、原則高校特別進学コースに内部進学します。
③ 中学進学スポーツコースの生徒は、原則高校進学スポーツコースに内部進学します。
④ 中学時代に進路変更があった場合、他コースへの内部進学を認める場合もあります。
⑤ 高校進学時、他の高校を受験した場合は桐生第一高校に入学することはできません。



２０２２桐生大学附属中学校　Q&A

2022年4月1日現在

※この Q&A は 2022 年4月1日現在のものです。見直しが行われる場合があります。

桐生大学附属中学校について

Q：桐生大学附属中学はどのような学校ですか

A：「生徒一人一人が輝く学校」を目指しています。2011 年に設立された県内では最も新しい私立中学校です。
設備が整った新しい校舎で快適な学校生活を送ることができます。

Q：桐生大学附属中学への通学方法はどのような手段がありますか

A：西桐生駅から徒歩1分。桐生駅から徒歩5分。新桐生駅からスクールバスも運行しています。
県内でもっとも駅からのアクセスが良く、安心して通学できます。

Q：教育の特色は

A：国際化する社会の中で幅広い視野を身につけるために以下の3点に力をいれています。

◆英語教育・・・朝の単語学習や常駐するネイティブの先生による読み聞かせで「英語脳」をつくります。
スピーチコンテストを開催、中学校卒業時に英検準2級相当の実力を身につけます。

◆日本文化・・・能や箏といった日本の伝統文化を学び・実体験する事でより自国の文化を理解し、その上で異文化を尊重する心を育みます。

◆体験型学習・・・「本物の実力＝さまざまな角度から思考する力」の基盤作りの機会を提供します。
海外や社会に出ると、答えのない課題に直面します。そのような場合に自分で考えて対処できる能力が重要と考えます。
「実在の企業から出されたミッションの答えを自分たちならではの視点から探究し、プレゼンテーションをする」QUEST（クエスト）に挑戦、6年連続全国大会出場を果たしました。

また、少人数制で先生の生徒一人一人に対するフォロー体制ができている事も本学の特色です。
放課後や土曜日には得意分野を伸ばし苦手分野を克服するためにさまざまな講座を開講しています。

Q：高校とのつながりはどうなりますか

A：中学特別進学コースの生徒は高校特別進学コースに内部進学できます。
中学進学スポーツコースの生徒は高校進学スポーツコースに内部進学できます。
ただし、桐生第一高校の他の科・コースへの内部進学も可能です。

Q：高校の進学実績はどのようになっていますか

A：桐生第一高校特別進学クラスの過去10年の主な進学実績は以下の通りです。

【国公立大学】 一昨年度 **秋田大学 医学部 医学科**に合格しました。

北海道大学 東北大学 筑波大学 お茶の水女子大学 東京外国語大学 東京学芸大学 東京農工大学
千葉大学 横浜国立大学 大阪大学 金沢大学 信州大学 東京海洋大学 群馬大学 高崎経済大学
県立女子大学 県民健康科学大学 他

【私立大学】

早稲田大学 慶應大学 上智大学 東京理科大学 明治大学 青山学院大学 立教大学 中央大学
法政大学 学習院大学 独協医科大学 立命館大学 他

Q：放課後や土曜日の講座制授業はどのように行っていますか

A：正規の授業時間としては行っていません。現在、放課後は火曜日・木曜日に希望制講座を1コマずつ、土曜日は必修講座を3コマ実施しています。朝自習の時間が毎日15分あります。また、朝に希望制の講座を開講しています。金曜日の5，6限は特別進学コースでは必修講座、進学スポーツコースでは部活動というカリキュラムです。

Q：長期休業中の講座制授業はどのように行われますか

A：夏休みは前期講座（7月末まで）、後期講座（8月後半）の午前中に必修の講座制授業を予定しています。
冬休みは年末約1週間、春休みは3月末まで約1週間を予定しています。

Q：学費について教えてください

A：入学時の学納金は 320,000 円、月々の経費は 37,200 円。

※月々の経費の中には各種教材費が含まれています。

※他に昼食費（6,000 円）と研修旅行費の積立（業者積み立て 9,000 円）が月々の経費としてかかります。

※制服・運動着などの学用品代が入学時に必要となります。

Q：各種研修費用・教材費などはどれくらいかかりますか

A：基本的には月々の学納金の中から拠出していきます。ただ、各種研修費用や教材費が月々の学納金では不足する場合・模擬試験代など個別対応する必要がある場合は別途徴収していきます。

学校生活について

Q：登校時間は何時ですか

A：8：30　登校です。 ※8：15～朝自習の時間が設けられています。

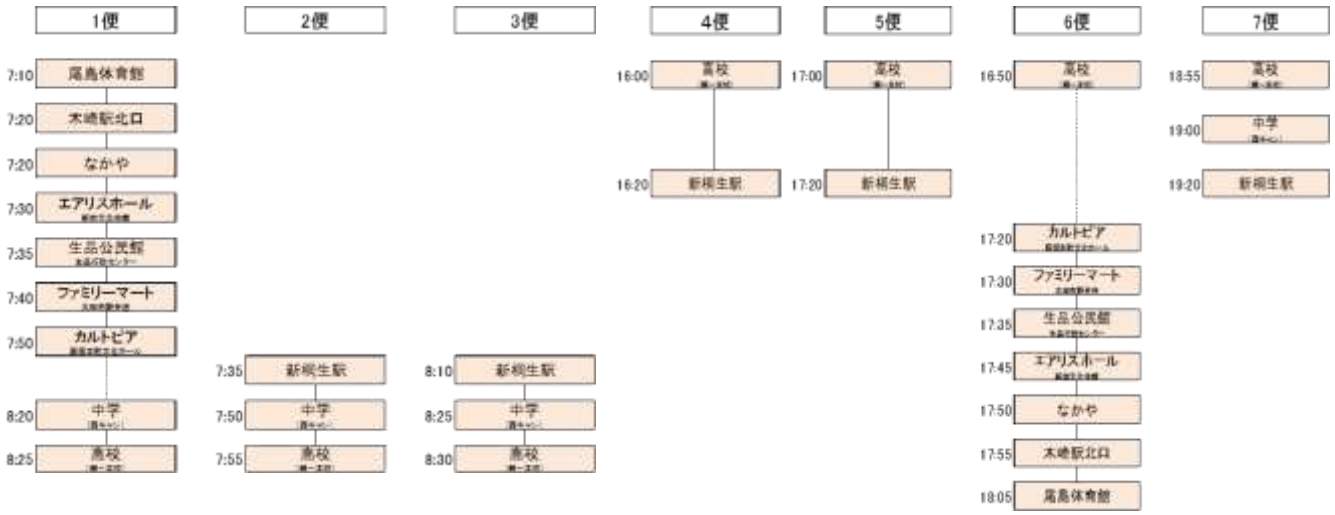
朝7：00に開門するので、朝早く登校して自学自習することができます。

Q：下校時間は何時ですか

A：基本的に18：30完全下校です。

Q：太田方面から登下校はできますか

A：尾島方面～新桐生駅～学校（西桐生キャンパス）間でスクールバスを運行しています。



※土曜日には対応していません。

※長期休業中の講座授業は別途登校時と下校時に1便ずつ運行しています。

※下校時は、時間割の関係で、基本7便のみが利用できます。

Q：規則や校則は厳しいですか

A：桐生大学附属中学生としての心得は設けています。中学生らしい頭髪や服装、下校時はまっすぐ家に帰ること、授業に不必要なものは校内に持ち込まないことなど、基本的な内容です。自律・自立を高める教育を最優先に考えているので、善悪の判断などは自分で考えていくよう指導しています。

Q：携帯電話の取り扱いはどのようにしていますか。

A：携帯電話を学校に持ってくることは原則禁止しています。

ただし、希望するご家庭については許可制で持ち込みを認めています。

Q：給食はありますか

A：完全給食制となります。

Q：部活動はありますか

A：中体連に登録して活動する部活動：進学スポーツコースのサッカー部、特別進学コースの陸上部。

他クラブ活動例：ロボコン、英語コミュニケーション、音楽、 メディア、科学、箏、バドミントン、バスケットボール など

Q：桐生大学附属中学独自のイベントはありますか

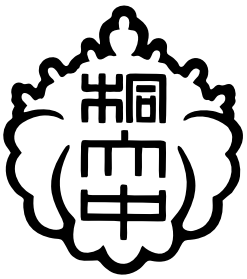
A：英語スピーチコンテストや百人一首大会といったイベントを実施しております。

イベント例：英語スピーチコンテスト、百人一首大会、スポーツ大会、プレエンパワーメントプログラム、
校内弁論大会、箏・能発表会、校内クエストカップ

Q：修学旅行はどこへいきますか

A：イタリア研修旅行を予定しています。

本校の教育の柱である国際対応力を高めるため、本物に触れる機会を早い時期に体験する目的で海外研修旅行を実施する予定ですが、コロナ禍のため社会状況を踏まえ、研修地が変更になる場合があります。



学校法人　桐丘学園

桐生大学附属中学校

群馬県桐生市小曾根町 9 番 17 号

TEL　0277-48-8600　FAX　0277-20-7465

http:/jhs.kiryu-u.ac.jp